

JVC

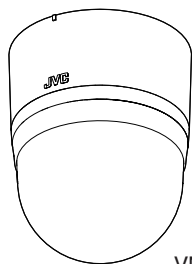
HD ネットワークコンビネーションカメラ

屋外 HD ネットワークコンビネーションカメラ

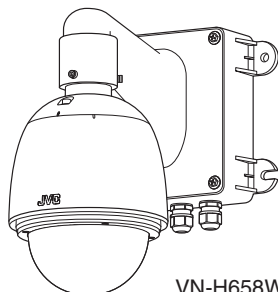
型名 **VN-H658**

取扱説明書（設置編）

VN-H658WP



VN-H658



VN-H658WP

モバイルユーザーガイド

スマートフォン、タブレット、パソコンに標準搭載のブラウザでも設置や設定方法について閲覧することができます。

<https://manual3.jvckenwood.com/jkpi/manual/jp/>



お買い上げありがとうございます。

ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

特長

- 屋外対応、PTZ カメラ(VN-H658WP)
- F1.6 光学 30 倍ズームレンズと、高速回転台を高耐久性屋外ハウジングに一体化しました。
- フレームレート 60 fps 対応
- 60 fps により滑らかな動画を撮影し、決定的瞬間を逃しません。
- マルチエンコード
- 高パフォーマンスエンコーダーの搭載によって、同時に 4 エンコードが可能です。
- WDR(ワイドダイナミックレンジ)機能
- WDR 機能で厳しい逆光でもしっかり撮影できます。
- プライバシーマスク機能の搭載
- 撮影する場所に、映したくない場所がある場合、その部分を塗りつぶす設定が可能です。
- マルチキャストに対応
- マルチキャスト対応によって、同じ映像データをネットワーク上の複数のパソコンへフレームレートを下げることなく一度に送信することが可能です。
- ビューワーソフト内蔵
- カメラ映像(JPEG または H.264/H.265)をパソコンでモニタリングするためのビューワーを内蔵しています。本機の設定、制御も可能です。使いやすさを追求した GUI を採用しています。
- 音声の入出力可能
- 外部マイクを接続して音声をカメラからパソコンに入力できます。また、パソコンに入力した音声をネットワーク経由でカメラから出力することもできます。
- SD カード記録機能の搭載
- microSD カードを使用して監視映像、音声を記録することができます。また、記録したその映像をネットワーク経由で見る、およびダウンロードすることができます。
- パソコンで microSD カードに記録した映像を再生できます。

本製品は下記 URL に記載されている HEVC 特許の 1 つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた


- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。
メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
P. : 参考ページを示しています。

■ 本書記載内容について

- 最新の取扱説明書やファームウェアは、ホームページの各種ダウンロードにてご確認ください。
ホームページ:
<https://www.jvc.com/jp/pro/support/>
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Windows、Windows Media Player は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。
- microSD カードは、「SD カード」として説明しているところがあります。

■ 取扱説明書の構成

本機の取扱説明書は、次の構成になっています。

名称	内容
取扱説明書(設定編)	本機の運用に必要な設定・操作方法について説明しています。
取扱説明書(設置編)(本書)	本機の設置・接続方法について説明しています。取扱説明書(設置編)は、本機に添付されています。
モバイルユーザーガイド	取扱説明書(設置編)と取扱説明書(設定編)の内容をスマートフォン、タブレット、パソコンなどで閲覧できます。 

もくじ

はじめに

特長	2
この取扱説明書の見かた	2
もくじ	3
安全上のご注意	4
設置作業時のご注意	7
正しくお使いいただくためのご注意	8
添付物・付属品	13

製品概要

各部の名称	14
VN-H658	14
VN-H658WP	16
microSD カードについて	18
アラーム入出力信号について	19

設置・接続

カメラの取り付け	20
設置・接続の準備(VN-H658)	20
カメラ本体の取り付け(VN-H658)	26
設置・接続の準備(VN-H658WP)	28
カメラ本体と、壁面取付ブラケット(アーム部)の取り付け(VN-H658WP)	31
接続	36
動作環境	36
ネットワークについて	36
映像確認の準備	38
IP アドレス(工場出荷値)	38
パソコン接続および映像確認の準備	38

その他

こんなときは	39
保証とアフターサービス	42
仕様	43

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告



注意

この表示(文字含む)を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています

この表示(文字含む)を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

絵表示の説明

- 注意(警告を含む)が必要なことを示す記号



一般的注意



感電注意



手をはさまれないよう注意

- してはいけない行為(禁止行為)を示す記号



禁止



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



接触禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

- 必ずしてほしい行為(強制・指示行為)を示す記号



電源プラグを抜く



一般的指示

- 各説明項目の中には、重複している内容もあります。

警告

異常が発生したとき

- 万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因となります。

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- 内部に水や物が入ってしまったとき。
- 落としたり、キャビネットが破損したとき。
- 電源ケーブルが傷んだとき。(芯線の露出、断線など)

このようなときは、すぐに電源をお切りください。煙が出ているときは、止まったのを確かめてから販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



設置について

- 不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いた所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがをする原因となります。



- 風呂場など水のある場所で使わない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。また、雨天、降雪中、水辺で使用するときはご注意ください。



- 設置／接続作業は販売店または専門業者に依頼する

設置／接続作業は、専門的な知識や技術が必要になります。販売店または専門業者にご依頼ください。正しく設置／接続されないと、落下によるけがや事故、火災や感電の原因になります。



電源や電源ケーブルについて

- 雷が鳴り出したら、電源ケーブルなどのケーブル類に触れない
感電の原因となります。



- 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源ケーブルの上に機器本体や重いものをのせない。
- 電源ケーブルを熱器具に近づけない。



取り扱いについて

- 機器内部に物を入れない

機器内部に金属類や燃えやすい物などが入ると、火災や感電の原因となります。



- 本機を分解したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部品があり、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



- 本機の上に乗らない、ぶら下がない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭・場所では注意してください。



- この機器の包装に使用している梱包箱・梱包袋・ポリ袋などは、小さなお子様の手の届くところに置かない

遊びに使ったり頭からかぶったりすると、けがや窒息の原因となります。梱包箱・梱包袋・ポリ袋などは、施工後に回収してください。



⚠ 注意

設置について

- 本機を設置する場合

本機を設置する場合は、専門技術が必要となりますので、販売店にご依頼ください。取り付けねじやナットでの締め付けがゆるいと落下するおそれがありますので、確実に締め付けてください。

- 十分な強度を持った場所に取り付ける

本機には高速回転部分がありますので、振動や本機質量などを考慮し、十分な強度を持った場所に取り付けてください。

質量：約 2.1kg (VN-H658)

約 6.3kg (VN-H658WP)

強度が不十分な場合は、振動のためモニター上で画ブレが発生したり、最悪の場合落下し、下に人がいた場合、重大な事故となる危険性があります。



- カメラを正しく取り付ける

落下防止ワイヤーは必ず接続し、取り付けねじやナットは確実に締め付けてください。故障やけがの原因となります。



- 関連機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明書に従って接続する

接続には指定のコード・ケーブルを使用してください。指定以外のコード・ケーブルを使用したりすると発熱し、火災ややけどの原因となることがあります。



- 取扱説明書(設置編)に記載されていることに従って設置する

取扱説明書の設置手順に従わない不完全な設置を行なうと、落下や故障の原因となります。



はじめに

■ 取り付けねじやナットで締め付ける箇所がある機器は、締め付けを確実にしなう

締め付けが不確実・不十分だと落下、けがの原因となることがあります。適切な締め付けトルク、サイズ、数量で確実に締め付けてください。台風・大雨・暴風・地震などのあとには、ねじの緩みがないか点検し、落下の危険がないことを確認してください。また、1年に一度は取り付けねじに緩みや破損がないことを点検し、確認してください。



■ 取り扱いについて

■ 移動するときは、重いので必ず2人以上で持つ

けがの原因になることがあります。



■ お手入れについて

■ 定期的に点検を行なう

取付部の劣化や振動や衝撃によるねじのゆるみ、落下防止ワイヤーの腐食や劣化がないことを定期的に点検し、落下の危険がないことを確認してください。



■ 音声・スピーカーについて

■ ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



■ 音量を下げてから、電源を入れる(機械式ボリュームの場合)

音量が上がっていると、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



■ 聞き終わったら、電源を切る前に、音量を下げる(電子式ボリュームの場合)

音量が上がっていると、電源を入れたとき突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



■ 長時間、音がひずんだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



設置作業時のご注意

設置作業時にご注意いただきたい重要な項目です
ので、必ず設置作業前にお読みください。

この「設置作業時のご注意」は当社製セキュリティ
カメラ全般についての設置作業時のご注意を記載
しています。

お客様がお買い上げのカメラによっては、記載さ
れている機能が搭載されていない場合や機能名が
異なる場合があります。

● 設置作業時のご注意について

- 開封時、カメラや添付物・付属品の外観に目視で
きる破損がないことを確認してください。
- 壁または天井などに取り付けるときは特別な注
意が必要です。お客様による工事は避けて専門
の工事業者にお任せください。カメラが落下す
るとけがなどの原因となります。
- 設置作業時には、カメラの落下に十分注意して
作業を行なってください。
- 天井への取り付けの際は、落下物から目を保護
するため、必ず保護めがねを着用して行なっ
てください。
- 壁または天井などの設置場所の強度を確認し
てください。カメラが落下する原因となります
ので、十分な強度をもっていない場所に取り付
ける場合は、設置前に補強を必ず行なってくだ
さい。
- 取り付けねじやナットでの締め付けが不十分な
場合、カメラが落下する原因となります。締め付
けは適正かつ確実に行なってください。また、取
り付け部の劣化や振動によるねじのゆるみを定
期的に点検し、落下の危険がないことを確認し
てください。
- カメラにぶら下がったり、ゆすったり、物を引っ
掛けたりしないでください。過度の荷重がかか
ると、カメラが落下してけがや事故の原因とな
ります。
- 専用の取り付け金具が付属されている場合、必
ず使用してください。
- 落下防止ワイヤーは必ず接続してください。
- 雨天時の設置作業は、雨滴が内部に入らないよ
う十分にご注意ください。また、防塵・防水対応
のカメラを多湿環境で設置した場合、すぐ使用
するとレンズなどがくもる恐れがあります。そ
の場合、しばらく放置し、くもりが取れるまで使
用しないでください。
- カメラや接続ケーブルなどへの誘雷に対応はし
ていますが、万全ではありません。落雷の被害が
考えられる取り付け場所では、必ず接続ケー
ブルにアレスターを追加するなどの対応をとっ
てください。
- ドームカバーやレンズなどの光学部品は直接手
で触れないようにしてください。指紋などが付
着していると画質劣下の原因となる場合があり
ます。
- ヒーター内蔵カメラの場合、寒冷地で電源を入
れると内部が温まるまでカメラにアクセスでき
ない場合があります。寒冷地で使用する場合は
常時通電して内部温度が下がらない状態でご使
用することをおすすめします。
- カメラの防塵・防水性能は、取扱説明書などの設
置手順や設置作業時のご注意に記載されている
防水処理を施されている状態での性能になりま
す。カメラと取り付け面の防水処理や接続ケー
ブルの防水処理を確実に行ってください。
- パン/チルト/ズーム機能搭載カメラ(PTZ カメ
ラ)は必ずカメラ部が水平になるように設置し
てください。傾いて使用すると正しく動作しま
せん。

● 電源について

- AC24V 仕様のカメラの電源は、対象電源をお使
いください。
- カメラに電源を供給するときには取扱説明書を
確認して正しい電源・電圧でお使いください。本
機の電源に AC24V を使用する場合、電源は必ず
一次電源から絶縁されたものを使用してくださ
い。
定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発
火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源
を切って、速やかにサービス窓口へ連絡して
ください。外観・動作に異常がなくても内部にダ
メージが残っている場合があります。速やかに
サービス窓口へ連絡して点検(有償)を受けてく
ださい。

正しくお使いいただくためのご注意

この「正しくお使いいただくためのご注意」は当社製セキュリティカメラ全般についての内容を記載しています。

お客様が買い上げのカメラによっては、記載されている機能が搭載されていない場合や機能名が異なる場合があります。

● 電波障害について

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

● 製品セキュリティに関するご注意

- 弊社では「製品セキュリティに関する基本方針」を定め、製品の安全性の確保に努めています。この「製品セキュリティに関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。製品セキュリティに関する基本方針は、下記 URL をご覧ください。

https://www.jvckenwood.com/jp/product_security.html

● 情報セキュリティに関するご注意

- 本機は、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。
- 工場出荷時のユーザー名とパスワードは広く公開されているため、変更せずに使用していると大変危険です。容易に推測されない文字と数字を組み合わせたユーザー名とパスワードに設定してください。また、パスワードは定期的に変更してください。

● 保管および使用場所について

- VN-H658 は、屋内用カメラです。屋外での使用はできません。
- 下記のような場所には置かないでください。
 - スポットライトなど、高温になる照明器具に近いところ
 - 厨房など蒸気や油分の多いところ
 - 使用周囲温度範囲外の暑いところや寒いところ

- エアコンの吹き出し口近くなど直接冷気の当たるところ
- 火口や温泉場、トンネルの中など腐食性のガスが発生するところ
- 可燃性のガスを使用するところ
- 放射線や X 線を発生するところ
- 変圧器やモーターなど強い磁気が発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器に近いところ
- 振動、衝撃のあるところ
- ほこりや砂の多いところ
- 窓ざわなど水滴の発生しやすいところ
- 明滅をする光源があるところ
- プールなど薬剤を使用するところ
- 海岸付近など潮風による塩害の発生が予想されるところ
- 直射日光が映るところ
- 雨や湿気にさらされるところで保管しないでください。屋内用カメラは雨や湿気にさらされるところでは使用できません。屋外で使用する場合は、ハウジングなどを使用してください。
- カメラを寒い場所から暖かい室内などへ移動したときに、結露が発生し、動作しない場合があります。この場合は室温にしばらく放置して結露が取れるから、電源を入れてください。
- 防塵・防水性能 IP66 に対応とは、どのような環境下でも浸水しないことを保証しているものではありません。
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気が発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く）で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。

● 設置・設定時のご注意

- 本機の設置は、高所での作業を伴います。設置工事は必ず販売店または専門の工事店にご依頼ください。
- 設置作業は、けがや事故を防止するため、ヘルメット、安全靴や手袋、保護めがねを着用するなど、設置に適した服装で行なってください。
- すべての工事・配線が完了したら、電源を入れる前にもう一度、すべての結線・配線・コネクタが確実に接続できているか、また、極性、配線間違いがないか確かめてください。予期せぬ事故を未然に防げます。
- 本体落下防止ワイヤーは、必ず確実に取り付けてください。取り付け後は、ボルトやナット、ねじなどの緩みなどが無いことを必ず確認してください。

- 本機を取り付ける天井、壁面などは、本機の荷重に十分耐えられる場所を選び、確実に取り付けられる方法(ねじ、ボルト、ナット、アンカーボルトなど)を選んでください。
- 本機で SD カードへ記録中に、万一、電源が切れると、停電前 1 分ほどの録画映像と録画音声が消失・破壊することがあります。録画録音する場合は、給電機器を無停電電源装置(UPS)によって停電保護された電源に接続してください。
- 設置時は、必ず電源を切った状態で行なってください。機器の故障や誤動作の原因となることがあります。
- 各種ケーブルは、次のことに注意して接続してください。VN-H658WP の場合、防水処理を必ず実施してください。
 - ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - ・ケーブルの上に機器本体や重いものをのせない
 - ・機器本体やフロントパネルなどに挟み込まない
 - ・熱器具に近づけない
- お手入れについて
 - お手入れは、電源を切ってから行なってください。
 - カメラ外装の汚れは乾いた柔らかい布などでふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めてふき、あとでからがきしてください。また、シンナーやベンジンなどでふかないでください。表面が溶けたり、くもったりします。
- 輸送について
 - カメラの入っていた箱は捨てずに取っておき、輸送する場合はその箱を使用してください。
 - 輸送時の衝撃に耐えるため補助テープで固定しているカメラもあります。カメラの故障防止のため可能な限り元の梱包状態に戻してから輸送することをおすすめします。
 - パン/チルト機構部が非常に回転しやすい構造のため、輸送時はドームカバー内部のパン/チルト機構部が回転しないようにレンズを水平に向け、レンズ部をテープで固定してから輸送してください。カメラ動作に不具合が発生する場合があります。
- 省エネについて
 - 長時間使用しない場合は、安全および節電のため電源を切ってください。
- 電源について
 - すべての結線が終了してから本機の電源を入れてください。接続コードの抜き差しは電源を切ってから行なってください。
- 時計機能について
 - カメラは電源を供給しない状態で放置されると時刻が初期化されます。初めてお使いになる場合や、時刻が初期化された場合は、時刻の設定を行なってください。時刻を設定しなかった場合、ログ、SD カード記録およびメール送信の時刻情報などが正しく表示されません。
 - 時刻サーバー(SNTP サーバーや NTP サーバーなど)を使用して自動的に時刻合わせを行う機能を搭載したカメラの場合、より正確な時刻で記録するために、時刻サーバーのご使用をおすすめします。
- SD カードについて
 - SD カードは寿命のあるデバイスのため長期間の使用はおすすめできません。保存データの消失・破壊による損害に対する責任は一切負いません。大切なデータはバックアップをお願いします。
 - SD カードは下記の条件などによって保存データを消失・破壊することがあります。
 - ・SD カードに電氣的・物理的なショックを与えた場合
 - ・データのアクセス中に SD カードを取り出したり機器の電源を切ったりした場合
 - ・SD カードが寿命となった場合
- 映像の再生について
 - 本機のビューワーの録画ボタンと SD カード記録で録画した映像については、オペレーティングシステムごとに下記のプレーヤーで再生を確認しています。
 - ・Windows Media Player(バージョン:12)
 - ・H.265 で録画した映像については、別途ライセンス費用が必要です。
 - ・JPEG で録画した映像については、別途 Motion JPEG 用のコーデックをインストールする必要があります。

はじめに

● フォーカスについて

- 高倍率レンズを使用しているカメラの場合、温度変化によってフォーカスがずれることがありますが故障ではありません。
- フォーカスを合わせる場合は、実際に使用する環境の温度に近い状態で行うことをおすすめします。
- 使用中の温度変化によってフォーカスがずれる場合は、オートフォーカス機能を使用するか、フォーカスを取り直して使用してください。
- オートフォーカス機能はカメラの設定、被写体や光源の状態によっては、フォーカスを合わせられない場合があります。この場合はマニュアルで合わせてください。
- オートフォーカスで合わせにくい被写体
 - 輝度が極端に高い(明るい)被写体
 - 輝度が極端に低い(暗い)被写体
 - 輝度が常に変化している被写体(点滅するライトなど)
 - コントラスト(明暗差)がほとんどない被写体
 - 繰り返しの縦縞パターンがある被写体
 - 動きのある被写体
- オートフォーカスで合わせにくい設定
 - AGC で感度アップし画面がザラついている
 - 電子感度アップで画面の動きが少ない
 - 電子ズーム中で十分な輪郭成分が少ない

● ズーム動作について

- 下記の現象は内蔵レンズの性能によるもので故障ではありません。
 - マニュアル動作やプリセット選択などによるズーム動作が止まったあとに、フォーカスが動く
 - マニュアル動作中のズーム動作が滑らかでない
 - プリセット選択を行なったときのズーム動作中に瞬間的にフォーカスがずれる

● 音声入出力について

- PTZ カメラの回転機構や電動レンズの動作時、電源 ON/OFF 時、SD カード動作時に雑音が発生する場合がありますが、故障ではありません。
- マイクゲインの設定値が高い場合、音声に雑音が目立つことがあります。これは故障ではありません。

● 免責について

- 設置説明に従わない不完全な取り付けによってカメラが落下した場合、発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- CMOS 撮像素子を使用したローリングシャッター方式のカメラは、PTZ カメラや旋回台に搭載するときなどのカメラが動く撮影や動く被写体を撮影する場合に、建物の柱や被写体がゆがみ、実際とは違う映像が出力されますが、撮像素子の特性によるもので故障ではありません。
- カメラの映像や音声によりプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- 動き検出、妨害検出、異音検出、アラーム入出力などのカメラの機能は、盗難、火災などを防止する機能ではありません。万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- 弊社はいかなる場合も次の事項に関して一切の責任を負わないものとします。

- 1 本システムに関して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害。
- 2 お客様の誤使用や不注意による障害または本システムの破損など。
- 3 お客様による本システムの分解、修理または改造が行われたことによる損害・被害。
- 4 本システムの故障・不具合以外の何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害。
- 5 第三者の機器などと組み合わせた拡張システム等による不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。
- 6 お客様による監視映像(記録を含む)が何らかの理由により公となり、または監視目的以外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど。
- 7 記録または登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと。

● 本機で記録した映像(音声)の個人情報の保護について

- 本機で撮影(録音)された映像(音声)には個人を特定できる情報が含まれている可能性があります。映像(音声)のインターネットなどでの公開は第三者のプライバシー権や肖像権の侵害や、個人情報保護法へ抵触する場合がありますので、十分に取り扱いにご注意ください。

● その他

- 大切な撮影の場合は、必ず事前に動作確認を行なってください。
- 太陽や明るいライトなどの非常に強い光源にレンズを向けないでください。故障の原因となります。
- 強い降雨や降雪の場合、霧が発生している場合などの環境条件によっては映像が不鮮明になることがあります。
- 落雷などにより電源電圧が変動した場合、動作が不安定になったり、故障したりすることがあります。
- 機器設置などで入出力端子に触れる際にはあらかじめ静電気を除去したあと、作業を行なってください。
- 強い光源、ハロゲンランプ、電球などの赤外線成分が強い光源では黒色の被写体が紫に近い色に映ることがありますが、レンズの特性によるもので故障ではありません。
- 動きのある被写体で残像が見える場合がありますが、故障ではありません。
- 商用電源周波数 50 Hz の地域では、蛍光灯照明下(インバーター照明器は除く)のちらつき(フリッカー)を軽減するため、露光設定を"フリッカーレス"や"フリッカー軽減"などに設定してご使用ください。"フリッカーレス"などに設定しても、非常に明るい照明環境下では、フリッカーが発生することがあります。
- ワイド側で撮影すると画面の四隅にケラレ(黒)が発生する場合がありますが故障ではありません。
- ご使用になるレンズや被写体によっては逆光の明るい部分や強い光源が内面で反射して画像に映り込むこと(ゴースト)がありますが故障ではありません。画角を調整することで改善することがあります。
- ご使用になるレンズや被写体によっては明暗の差が大きい被写体(蛍光灯など)を撮影した場合、明暗の境目が紫色になること(パープルフリッジ)がありますが、これはレンズの特性によるもので故障ではありません。画角の調整や映像(カラーレベル、ブライトネス)の調整をすることで改善することがあります。

- AGC や電子感度アップを大きく設定し暗い被写体を撮影すると、ランダムノイズやカラーノイズが発生したり、動きのある映像が見えなくなる場合がありますが、撮像素子の特性によるもので故障ではありません。
- PTZ カメラをテレ側で撮影する場合、パンやチルトの動作を行うと画面が振動して見える(回転動作が滑らかでない)ことがあります。この現象はモーター性能によるもので故障ではありません。
- PTZ カメラやファン内蔵カメラなどの場合に、モーターの動作音が聞こえることがあります。故障ではありません。
- PTZ カメラは必ず正しい向きでカメラ部が水平になるように設置してください。カメラの上下を逆さまにしたり、カメラ部を傾けて使用すると正しく動作しません。

● その他(共通のご注意)

- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。
- 本機は電源投入後、ズーム/フォーカスの初期動作を行います。初期動作が完了するまでに 1 分~2 分程度かかりますが、故障ではありません。
- ズームのワイド側で画面の四隅が暗くなる場合があります。その時は少しテレ側にすると解消します。
- AGC が動作中、トランシーバーなど強い電波を発生する機器を本機の近くで使用すると、映像にビートなど発生することがあります。トランシーバーなどを使用する場合は、本機から 3 m 以上はなれて使用してください。
- 本機をホワイトバランス「ATW-Narrow」、「ATW-Wide」、「ATW-Full」(自動調整)で使用したとき、自動色温度追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
- 高温時、急激な温度変化によってドームカバーがくもることがあります。
- 外来の雑音などによって、アラーム信号ケーブルの長さが 50 m 以下でもアラームが誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行なってください。
- マルチキャストを使用する場合は、IGMPv2 に準拠したネットワークスイッチを使用してください。

はじめに

- インテリジェント機能搭載のスイッチングハブの一部機種においては、ブロードキャストまたはマルチキャストの抑制機能が付いています。その機能が有効な場合、本機のマルチキャスト画像が正常に閲覧できない場合があります。
- ドームカバーは樹脂製です。破損しないよう、取り扱いにご注意ください。
- 落雷やエアコンの電源投入などによって電源電圧が瞬間的に断たれる、または低下した場合、映像が乱れたりノイズが混入したりすることがあります。
- ビューワーで視聴時に音声がずれる場合がありますが、故障ではありません。
- 3次元ノイズリダクション使用時は、原理上、動きのある被写体で残像が生じることがあります。故障ではありません。
- 設置・接続工事終了後、プリセットポジションを設定する前に必ず本機を再起動してください。
- 長期間同じポジションを監視する場合、水平回転部の接点抵抗の増加によって映像にノイズが発生したり、パソコンからの操作が不安定になることが考えられます。そのため定期的にクリーニングを行うオートクリーニング機能を使用することをお勧めします。

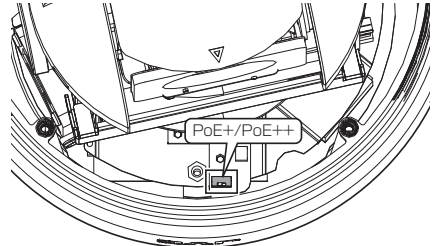
● その他(VN-H658WP 特有のご注意)

- 本機を暖かい場所から寒い場所へ移動するような急激な温度変化によっては、ドームカバー内側に結露が発生する場合があります。この場合は、しばらく放置して結露が取れてから電源を入れてください。
- PoE++電源使用時はヒーターが作動します。-10℃以下では、PoE++または AC24V 電源を使用してください。
- ヒーター使用時、本機の動作周囲温度は-40℃～55℃ですが、起動温度は-30℃以上です。-30℃を下回る環境では起動できません。
- 本機を低温(-30℃～-10℃)の環境下で電源を入れた場合、内蔵のヒーターによって内部が温まるまでのあいだ(最長 1 時間)は、本機にアクセスできません。低温環境下では常時、通電して使用することをおすすめします。

- PoE+でご使用になる場合は PoE 切り替えスイッチを「PoE+」にしたうえで、ヒータースイッチを「OFF」にして使ってください。このときヒーターは OFF になるため、周囲温度 0℃以上でご使用ください。また、PoE+の場合はプリセットポジション移動スピードの設定は「中速」以下でご使用ください。

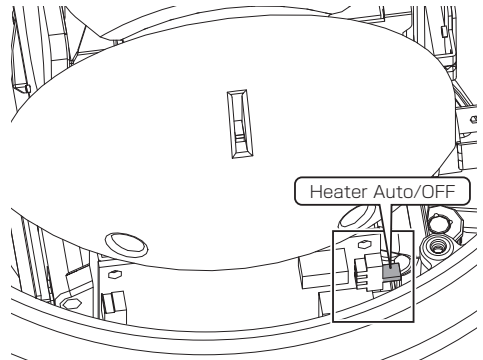
PoE 切り替えスイッチの場所

〔設定値: PoE+、●PoE++〕



ヒータースイッチの場所

〔設定値: ●Auto、OFF〕



- 周囲温度が仕様の範囲内であっても強風の中の降雪などにより、ドームカバー表面やカメラ本体に厚く積雪や氷が付着し解凍できなくなることがあります。このとき、映像が見えなくなるなどの症状が発生することがあります。凍結の恐れがある場所に設置する場合はご注意ください。

添付物・付属品

本機を取り付ける前に、以下の添付物・付属品が揃っていることをご確認ください。

■ VN-H658

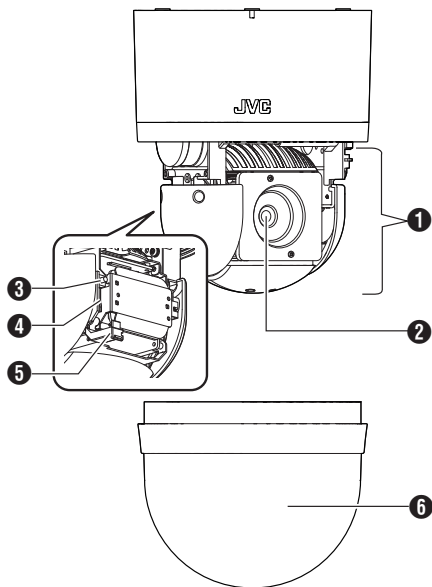
- 取扱説明書(設置編):1
- テンプレート:1
- 保証書:1
- 落下防止ワイヤー:1
- ワイヤークランプ:1
- ワッシャー:3

■ VN-H658WP

- 取扱説明書(設置編):1
- テンプレート:1
- 保証書:1
- コネクターカバー(RJ45):1

各部の名称

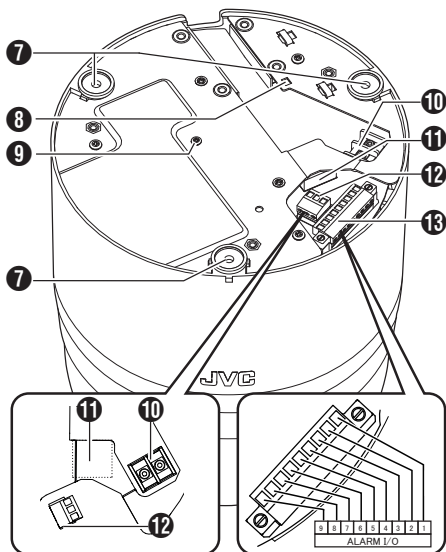
VN-H658



- ① パン/チルト機構部
- ② レンズ部(カメラモジュール)
レンズだけを交換することはできません。
- ③ SERVICE スイッチ(サービス専用)
長押しすると設定がリセットされます。
- ④ microSD カードスロット
microSD カードを挿入します。(P.18)
- ⑤ microSD カバー
- ⑥ ドームカバー
ドームカバーは傷が付きやすいので、取り扱いには注意してください。

ご注意:

- 出荷時にはあってある保護シートは、ドームカバーを本体に取り付けるまではがさないでください。



- ⑦ 固定用穴(3箇所)
天井あるいは、天井埋込ブラケット(WB-S685B 別売)などに取り付けるための穴です。
- ⑧ ワイヤークランプ固定穴
ワイヤー類を束ねるときに使用します。
- ⑨ 落下防止ワイヤー取付部
万一のカメラ落下に備え、この部分に落下防止ワイヤーを取り付けます。
- ⑩ [AC24V \sim INPUT] AC24 V 入力端子
AC24 V 電源と接続します。(P.23)
- ⑪ [10BASE-T/100BASE-TX] LAN ケーブル接続端子
ネットワークと接続します。
PoE+ (IEEE802.3at Type2)に対応しており、電源配線なしで本機を使用できます。(P.23)

⑫ オーディオ端子

オーディオケーブルを接続します。

オーディオケーブルの信号一覧

端子	説明
AUDIO IN	プラグインパワー方式対応のコンデンサーマイクなどと接続します。
GND	AUDIO IN/OUT の GROUND(接地)
AUDIO OUT	アンプ内蔵スピーカーなどと接続します。

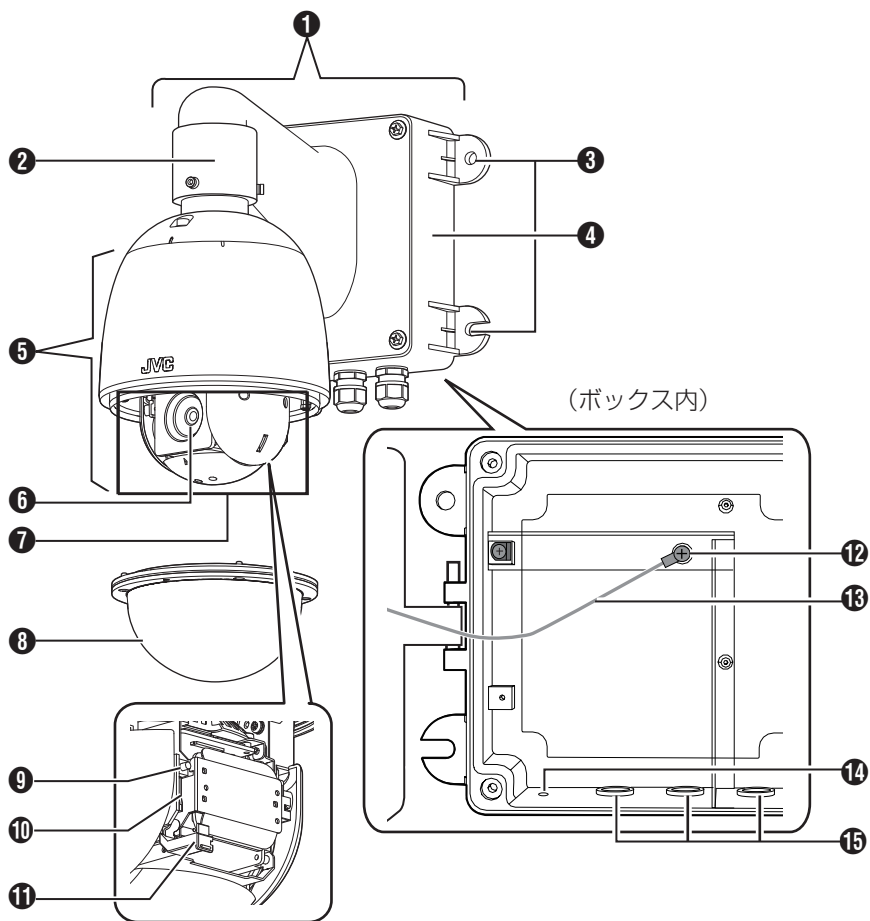
⑬ アラーム信号端子(9 ピン)

アラーム信号ケーブルを接続します。(P.24)

アラーム信号端子の信号一覧

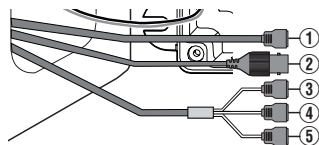
ピン番号	信号名	説明
1	ALARM OUT1	アラーム出力 1
2	COM1	アラーム出力 1 用 COMMON(共通)
3	ALARM OUT2	アラーム出力 2
4	COM2	アラーム出力 2 用 COMMON(共通)
5	GND	アラーム入力用 GROUND(接地)
6	ALARM IN1	アラーム入力 1
7	ALARM IN2	アラーム入力 2
8	PT-STOP	パン/チルトの動作を止めるには、GND 端子と短絡した状態で電源を入れてください。オープン状態にし、電源を切→入にすると解除されます。
9	DAYNIGHT-IN	デイナイト用

VN-H658WP



- ① 壁面取付ブラケット
- ② 壁面取付ブラケット(アーム部)
- ③ 壁面取付ブラケット固定用穴(4箇所)
壁面取付ブラケットを壁に固定するための穴です。
- ④ 壁面取付ブラケット(ボックス部)
このボックス内で配線を行います。
- ⑤ カメラ本体
- ⑥ レンズ部(カメラモジュール)
レンズだけを交換することはできません。
- ⑦ パン/チルト機構部
- ⑧ ドームカバー
- ⑨ SERVICE スイッチ(サービス専用)
長押しすると設定がリセットされます。
- ⑩ microSD カードスロット
microSD カードを挿入します。(P.18)
- ⑪ microSD カバー
microSD カード挿入時に開けます。
- ⑫ 落下防止ワイヤー取付ねじ
- ⑬ 落下防止ワイヤー
- ⑭ 水抜き穴キャップ
ボックス内に雨水の浸入が予想されるときは、このキャップをはずします。
- ⑮ ケーブルグランド(3個)
この部分からケーブルを出します。

■ ケーブルについて



① AC24V 電源ケーブル

端子	説明
AC24V(L)	AC24V 電源の P 端子と接続します。
NOT USE	使用しません。
AC24V(N)	AC24V 電源の C 端子と接続します。

- ② LAN ケーブル
ネットワークと接続します。
PoE++(IEEE802.3bt Type3)に対応しており、電源配線なしで本機を使用できます。
- ③ アラーム入力
アラーム入力ケーブルです。

端子	説明
ALARM IN1	アラーム入力 1
ALARM IN2	アラーム入力 2
PT-STOP	パン/チルトの動作を止めるには、GND 端子と短絡した状態で電源を入れてください。 オープン状態にし、電源を切→入にすると解除されます。
DAYNIGHT IN	デイナイト用
GND	アラーム入力用 GROUND(接地)

- ④ アラーム出力
アラーム出力ケーブルです。

端子	説明
ALARM OUT1	アラーム出力 1
COM1	アラーム出力 1 用 COMMON(共通)
ALARM OUT2	アラーム出力 2
COM2	アラーム出力 2 用 COMMON(共通)

- ⑤ オーディオケーブル
マイク入力、ライン出力ケーブルです。

オーディオケーブルの信号一覧

端子	説明
AUDIO IN	プラグインパワー方式対応のコンデンサーマイクなどと接続します。
GND	AUDIO IN の GROUND(接地)
AUDIO OUT	アンプ内蔵スピーカーなどと接続します。
GND	AUDIO OUT の GROUND(接地)

メモ:

- ケーブル類の長さは壁面取付ブラケット(アーム部)より約 650 mm です。
- 配線後各ケーブルは壁面取付ブラケット(ボックス部)内に収めます。

microSD カードについて

本機では、撮影した映像をカードスロット内の microSD カード(別売)に記録できます。

■ 本機で使用可能な microSD カードについて

microSD カードは下記の仕様のものを使用してください。

- Class10 以上対応の microSDHC/SDXC カード、動作保証温度 85 °C 以上のもの
- 事前に、本機で必ず microSD カードをフォーマットしてから使用してください。

下記 microSD カードは本機に接続して、動作確認を行なっております。

- SanDisk SDSQUAC-128G-JN3MA
- SanDisk SDSQXAO-256G-JN3MD
- SanDisk SDSQXA0-512G-JN3MD
- TOSHIBA MSDAR40N128G
- TOSHIBA MSDBR48N256G
- TOSHIBA MUH-E256G
- TOSHIBA MU-J256GX
- JVC ケンウッド KNA-SD32A (高耐久 SD カード)
- SanDisk SDSQQVR-256G-JN3ID
- ハギワラ MSDB-032GS
- ハギワラ MSDB-064GS

※上記条件を満たす microSD カードすべての動作を保証するものではありません。

メモ：

- microSD カバーを開けた状態で長時間放置しないでください。内部にごみが入り、故障の原因となる場合があります。
- microSD カードを取り出すときは、必ず、[SD カード管理] ページで [アンマウント] ボタンを押してから行ってください。
- 動作確認していない microSD カードを使用すると、記録設定できても正常に記録ができない場合があります。
- microSD カードを取り出す場合は、microSD カードを軽く奥に押し込むと、ロックがはずれて取り出せるようになります。勢いよく飛び出すことがありますので十分注意し、失くさないようにしてください。
- microSD カードによっては、本機から取り出しにくいものがあります。

- microSD カードの挿入および交換は、本機の電源を切った状態で行なってください。

■ microSD カードの挿入について

microSD カードの向きを間違えると、カメラや microSD カードを破損する恐れがあります。microSD カードの差し込み口の挿入マークに合わせて、正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

■ microSD カードへの記録時間の目安

下記の記録時間については目安です。撮影環境や、お使いになる microSD カードによって異なることがあります。

(H.264/H.265、CBR 設定時の記録時間の目安です。)

(単位:時間)

ビットレート	容量		
	32GB	64GB	128GB
128 kbps	500	1000	2000
384 kbps	166	333	666
512 kbps	125	250	500
1024 kbps	62	125	250
2048 kbps	31	62	125

アラーム入出力信号について

■ アラーム入力信号

赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。

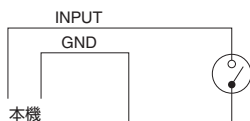
- アラーム入力信号は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。

ご注意： _____

- 電圧を供給しないでください。

メモ： _____

- [詳細設定]ページの[アラーム]ページで接点がショート(メイク)時にアラームとするか、接点がオープン(ブレイク)時にアラームとするか設定可能です。
- アラーム信号は 1000 ms 以上続けて加えるようにしてください。その時間より短い場合、アラーム信号として認識されないことがあります。



定格

ローレベル端子電流： 1 mA 以下

ハイレベル端子電圧： DC 5.0 V

■ アラーム出力信号

報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続します。

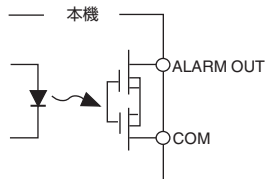
- アラーム出力信号はフォトカプラーで絶縁されたオープンドレイン出力となっています。

ご注意： _____

- この端子は、極性がありますので必ず COM 側出力より ALARM OUT 側出力の電圧が高くなるよう接続してください。
- 逆電圧を加えると破損します。

メモ： _____

- [詳細設定]ページの[アラーム]ページでアラーム時の接点をショート(メイク)とするかオープン(ブレイク)とするかを設定可能です。



定格

最大印加電圧： DC 40 V

最大駆動電流： 300 mA

カメラの取り付け

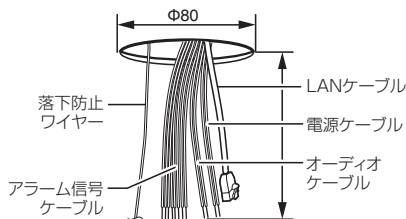
設置・接続の準備(VN-H658)

ご注意:

- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。
- 電源を入れると初期動作としてパン/チルト動作をします。初期動作を止めるためにはPT-STOP端子をGND端子と短絡した状態で電源を入れてください。詳しくは「**⑩アラーム信号端子(9ピン)**」をご覧ください。(P.15)
- 設置時にはパン/チルト機構部を持たないでください。
- カメラの取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行なってください。
- 本機を天井直付けする場合の落下防止ワイヤーは付属されておりません。事前に、本機の質量に耐えられる十分な強度の落下防止ワイヤーを別途用意してください。

1 天井に穴をあけ(添付のテンプレート使用)、ケーブル類を穴から出す

- 添付のテンプレートを使用し、接続ケーブルを天井裏に通す穴(Φ80mm)をあけてください。
- 必要に応じて、カメラを天井に取り付けるためのねじ穴もあけてください。その場合、カメラを正面に向けたい方向にテンプレートの“↑FRONT”を合わせてねじ穴をあけてください。
- あらかじめ天井スラブなどに取り付けした落下防止ワイヤー、電源ケーブル、LANケーブル、アラーム信号ケーブルおよびオーディオケーブルなどを天井から出してください。

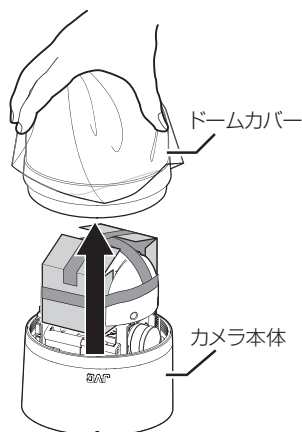


ご注意:

- 落下防止ワイヤーは十分な強度を持った場所に取り付けてください。
- 本機を取り付ける天井は、本機の荷重に十分耐えられる場所を選んでください。

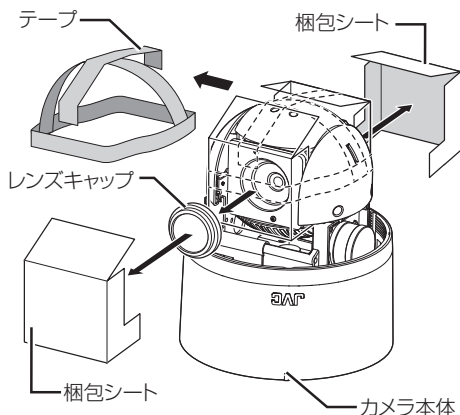
2 ドームカバーをはずす

- ドームカバーを反時計方向に回してははずします。



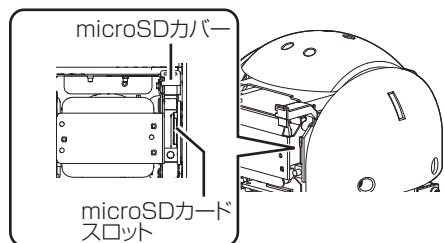
3 梱包用部材をはずす

- テープ、梱包シート、レンズキャップをはずしてください。

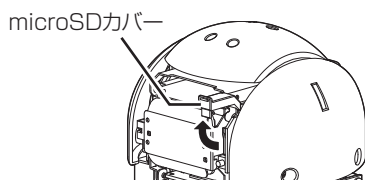


4 microSD カードを挿入する

- microSD カバーを開け、microSD カードを挿入し、microSD カバーを閉めます。
- 詳しくは「本機で使用可能な microSD カードについて」をご覧ください。(P.18)

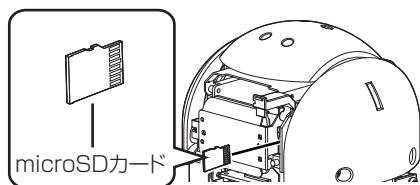


- ① microSD カバーを矢印の方向に持ち上げるようにし、開けてください。

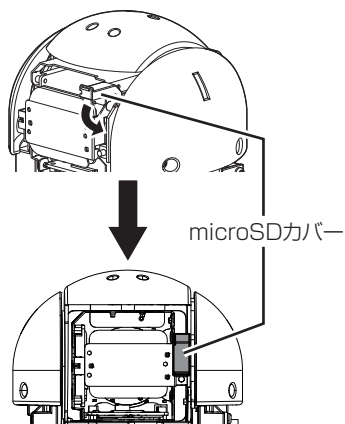


- ② microSD カードスロットに microSD カードを挿入してください。

- microSD カードは、カチッと音がするまで差し込んでください。



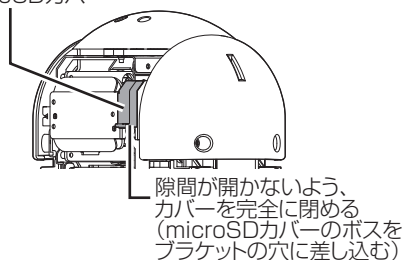
- ③ microSD カバーを閉めてください。



ご注意：

- レンズ部(カメラモジュール)は回転しやすいので、レンズに触れないようにしてレンズ部を手で固定してください。
- microSD カードを取り出すときは、挿入と同じ手順で microSD カバーを開けてから、カードを取り出してください。
microSD カードを奥に押し込むと、カードが取り出せません。
- microSD カバーの閉め方が不確実だと、カメラが回転した際に、ドームカバー等と接触する恐れがあります。図のように、microSD カバーを確実に閉めてください。

microSDカバー



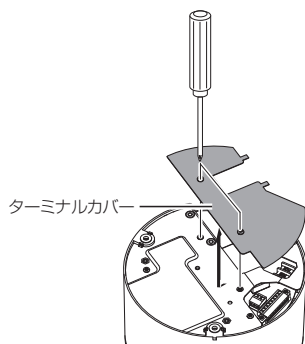
- microSD カードの挿入および交換は、本機の電源を切った状態で行なってください。
microSD カードに書き込み中に電源を切ったり、取り出したりとすると、カード内の記録データが破損します。

次のページへつづく

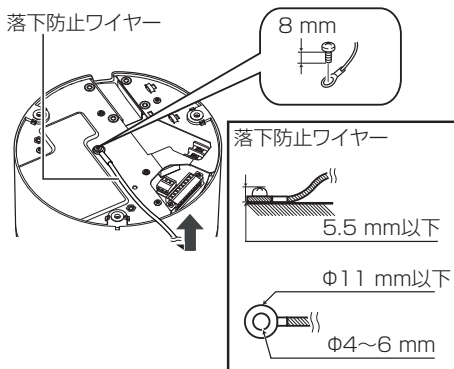
- microSD カードを取り出すときは、[SD カード記録] ページで [アンマウント] ボタンを押してから取り出してください。
- microSD カバーを開けたり microSD カードを取り出ししたりするときは、工具や microSD カバー周囲の金属などでけがをしないように気を付けてください。
- microSD カードを取り出すときに、勢いよく飛び出ることがありますので十分注意し、失くさないようにしてください。

5 ターミナルカバーをはずす

- 天井取付部のねじ 2箇所をゆるめて、ターミナルカバーをはずしてください。



6 落下防止ワイヤーを取り付ける



ご注意:

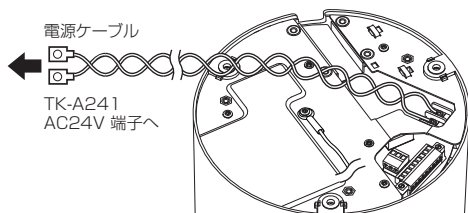
- 本機に付属の落下防止ワイヤーは、天井埋込ブラケット WB-S685B 用です。天井直付けの場合に付属の落下防止ワイヤーを使用すると、天井に落下防止ワイヤーがぶつかる恐れがあり、カメラ本体が水平に取り付きません。天井直付けする場合は、天井に落下防止ワイヤーがぶつからないよう、上図の寸法の落下防止ワイヤーを別に準備してください。
- 落下防止ワイヤーは本機の質量に十分耐えられる強度のもの（総質量の 10 倍以上）を使用してください。
- 固定ねじはカメラに取り付けてあるねじ (M4) をはずして使用してください。

メモ:

- ワイヤーは天井構造物と絶縁できるように接続してください。天井構造物が金属の場合、カメラとの絶縁をとらないと映像にノイズが入ることがあります。

7 電源ケーブルを接続する

- AC24V 電源で電源供給する場合は、電源ケーブルを接続してください。
- PoE+で電源供給する場合は、電源ケーブルの接続は不要です。次の手順へお進みください。



AC24V と接続する場合の電源ケーブルについて(参考値)

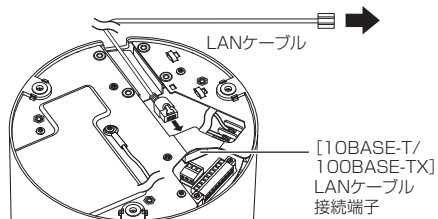
導体直径 (mm)	最大接続距離 (m)
Φ1.0 以上	40
Φ1.6 以上	100
Φ2.0 以上	180
Φ2.6 以上	300

ご注意：

- 電源ケーブルと LAN ケーブルの両方から電源が供給された場合、電源ケーブルからの電源が優先されます。
- 電源ユニットに TK-A241 を使用する場合は、“OUTPUT1 (MAX 3.2 A)”を接続してください。“OUTPUT2 (MAX 1 A)”または“OUTPUT3 (MAX 1 A)”に接続すると電流容量が不足することがあります。TK-A241 の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 電源ユニットに TK-A241 を使用する場合は、ユニット 1 台につき本機 1 台のみ使用可能です。

8 LAN ケーブルを接続する

- カテゴリ 5e 以上/100 m 以下の LAN ケーブルで接続してください。UTP (シールド無し) を使用してください。



- LAN ケーブルでハブまたはパソコンに接続してください。
- ハブに接続する場合は：ストレートケーブルを使用してください。
- パソコンに接続する場合は：クロスケーブルを使用してください。

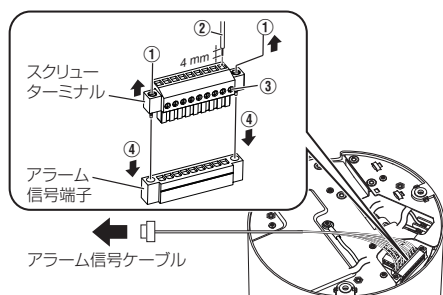
ご注意：

- パソコンによってはクロスケーブルを使用できない機種があります。カメラをパソコンに直結する場合には事前にパソコンの LAN 仕様を確認してください。

次のページへつづく

9 アラーム信号端子にアラーム信号ケーブルを接続する

- アラーム信号端子と、センサー、ブザーなどの外部機器を接続します。
- アラームケーブルは長さ 50 m 以下、UL1007 または UL1015 相当品、AWG24~AWG16 相当品をご使用ください。
- アラーム信号端子のピン番号と信号名については、「**12** アラーム信号端子(9ピン)」をご覧ください。(P.15)
- アラーム入出力について詳しくは、「アラーム入出力信号について」をご覧ください。(P.19)



- スクリューターミナルの両端のねじをマイナスドライバーで緩めて、スクリューターミナルをはずしてください。

メモ: _____

- マイナスドライバーの先端をスクリューターミナルの隙間に入れると、スクリューターミナルがはずしやすくなります。

- アラーム信号ケーブルの被ふくを 4 mm ほどむいて、スクリューターミナルに差し込んでください。

メモ: _____

- ケーブルが差し込めない場合はスクリューターミナルの側面のスクリューを反時計方向に回してください。

- 側面のスクリューを回しアラーム信号ケーブルを固定してください。

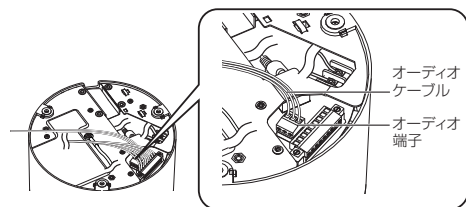
- アラーム信号ケーブルを固定したら、**1**ではずしたねじを使用して、スクリューターミナルを元に戻してください。

ご注意: _____

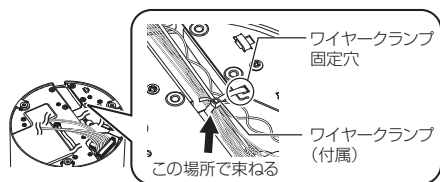
- 外来の雑音などによって、長さ 50 m 以下でも誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行ってください。

10 オーディオケーブルを接続する

- オーディオケーブルは長さ 5 m 以下のシールドケーブルを推奨いたします。
- 事前に、オーディオ機器に接続するケーブルを別途用意してください。
- AUDIO IN** 端子(P.15): プラグインパワー方式対応のコンデンサーマイクなどと接続します。
- AUDIO OUT** 端子(P.15): アンプ内蔵スピーカーなどと接続します。



11 ケーブル類の接続が終わったら、ワイヤークランプ(付属)でケーブルを束ねる



ご注意： _____

- 異物やほこりが入らないよう、ターミナルカバーは必ず取り付けてください。
- ケーブルを上出しする場合、落下防止ワイヤーはターミナルカバーの下をくぐらせてケーブル類と合わせて上出ししてください。

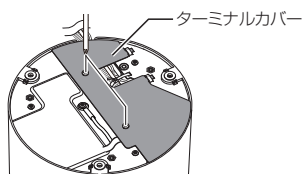
ご注意： _____

- ケーブルが絡まって断線するのを防ぐため、必ずワイヤークランプ固定穴にワイヤークランプを通してケーブル類を束ねてください。

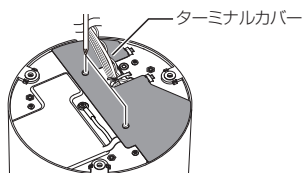
12 ターミナルカバーを取り付ける

- 手順3 ではずしたターミナルカバーを元に戻します。カメラの取り付け方法によってケーブルを出す方向が変わります。

ケーブルを横出しする場合



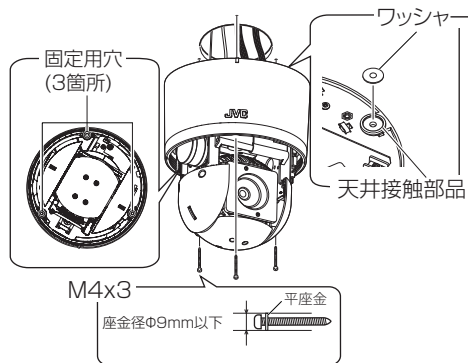
ケーブルを上出しする場合



カメラ本体の取り付け(VN-H658)

1 カメラ本体を天井に固定する

- 接続ケーブルをはさみ込まないよう注意して、カメラをねじ3本で天井に固定します。このとき、カメラ底面と天井の変形を防ぐため添付品のワッシャーを天井接触部品に取り付けてから設置してください。



ご注意:

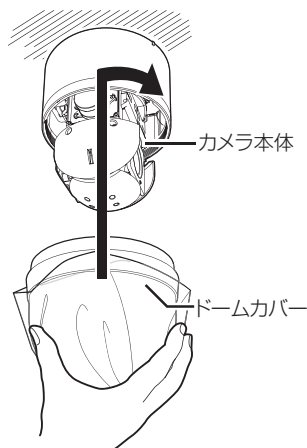
- 取付時にパン/チルト機構部を持たないでください。
- 固定用ねじ、ボルトは M4 を使用してください。
- 本機が水平になるように設置してください。傾けて使用すると正しく動作しません。
- ねじは緩み防止のため平座金の使用を推奨いたします。座金径は $\phi 9\text{mm}$ 以下を使用してください。
- ねじの締め付け時にねじ頭がもぐり込むタイプのねじは使用しないでください。(皿ねじなど) 絶縁用樹脂パーツが破損して絶縁がとれなくなることがあります。

メモ:

- 必ず 3 本のねじを使用して、確実に取り付けてください。
- メンテナンス時は念のため、ねじを増し締めしてください。
- 固定用穴についている樹脂パーツは、カメラと天井構造物の絶縁目的で使用しています。天井構造物が金属の場合カメラとの絶縁を行わないと、映像にノイズが入ることがあります。必ず絶縁するように設置してください。
- 本機を取り付ける天井は、本機の荷重に十分耐えられる場所を選んでください。

2 ドームカバーをカメラ本体に取り付ける

- ドームカバー内側の保護シートを外してください。
- ドームカバー内側やレンズにごみが付いていないかを確認してください。
- ドームカバーを時計方向に回して取り付けてください。



ご注意:

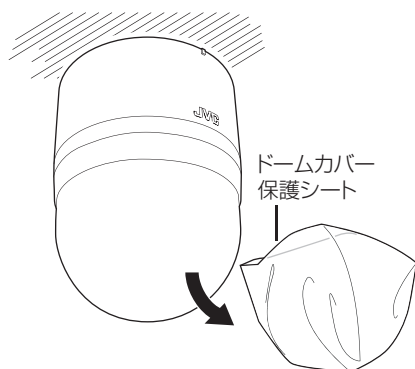
- ドームカバーは光学部品のため取り扱いに注意してください。
- ドームカバーを取り付けるときは、中にごみが入らないように注意してください。
- ドームカバーは最後まで締めてください。
- ドームカバーはねじ構造になっているのでカバーが回らなくなるまで確実に締め込んでください。このときドームカバーが斜めに付かないように注意してください。ドームカバーの閉め込みが不十分だと落下の恐れがあります。
- ドームカバーは無理に回さないでください。ドームカバーが破損することがあります。

メモ:

- ドームカバーが入りにくい場合、一度反時計方向に「カタッ」と音がするまで回し、再度時計方向に回すとスムーズに入ります。

3 ドームカバー保護シートをはがす

- 取り付け完了後に外側の保護シートをはがします。



ご注意：

- 取り付けに不備があるとカメラ本体が落下する原因となります。取り付け完了後、カメラが確実に取り付けられているか確認してください。

以上でカメラの設置は終了です。このあと、カメラの IP アドレスを設定してください。(P.38)

■ カメラの取りはずし

カメラを取りはずす場合は、取り付け時と逆の手順で行います。

設置・接続の準備(VN-H658WP)

カメラの取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行ってください。

● 壁面の準備

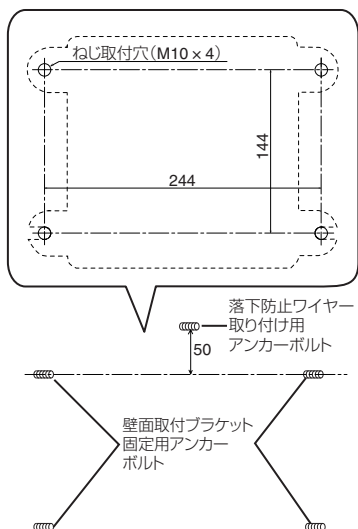
1 壁面取付ブラケット固定用のアンカーボルトを立てる

- 添付のテンプレートを使用してください。
- 壁面取付ブラケットを固定するためのアンカーボルト(M10×35 mm 以上)を4本立てます。
- 壁面取付ブラケットを固定するためのアンカーボルト上部2本の中央、50 mm 上の位置を目安に落下防止ワイヤーを取り付けるためのアンカーボルトを立てます。

ご注意：

- 壁の強度を確認してください。強度が不足していると落下の原因となります。
- アンカーボルトはステンレス製をご使用ください。
- 必ずカメラが水平になるように設置してください(±5°以内)。上下逆付けや傾けて使用すると正しく動作しません。

アンカーボルト取付位置 [単位: mm]



● カメラの準備

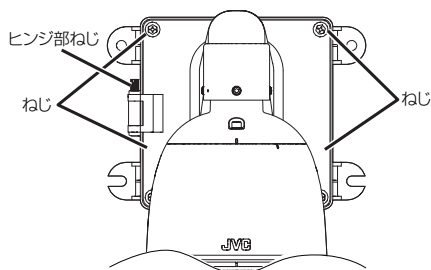
ご注意：

- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。
- 電源を入れると初期動作としてパン/チルト動作をします。初期動作を止めるためにはPT-STOP端子をGND端子と短絡した状態で電源を入れてください。
- 「ケーブルについて」の「③アラーム入力」をご覧ください。(P.17)
- 設置時にはパン/チルト機構部を持たないでください。

1 梱装箱から本機を取り出す

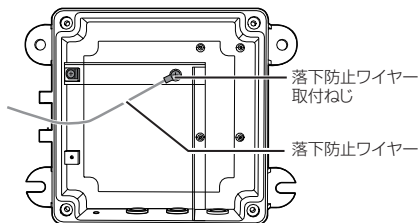
2 壁面取付ブラケット(ボックス部)をはずす

- ねじ(4本)をゆるめヒンジ部ねじをはずして、本機から壁面取付ブラケット(ボックス部)をはずします。



3 落下防止ワイヤーをボックスからはずす

- 落下防止ワイヤーは、落下防止ワイヤー取付ねじをゆるめてはずします。

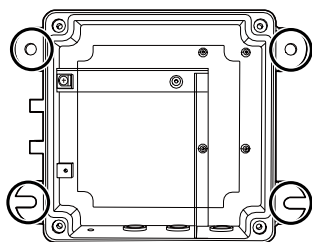


4 壁面取付ブラケット(ボックス部)を壁に取り付ける

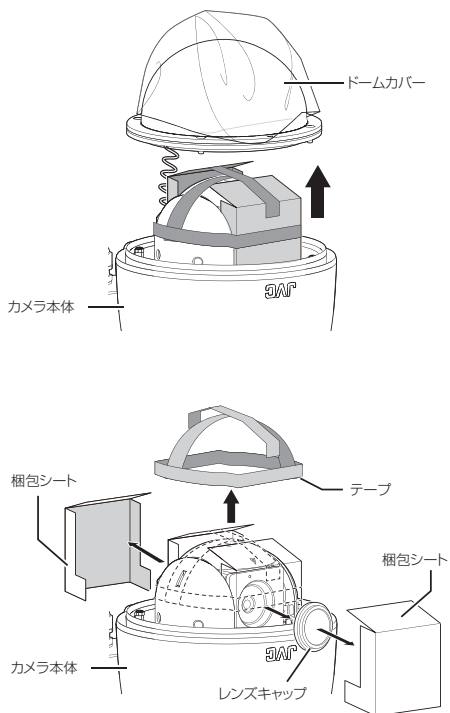
- 壁面取付ブラケット(ボックス部)をアンカーボルトに取り付け、ワッシャーとナット(別売)で固定します。

メモ:

- ワッシャーとナットはステンレス製をご使用ください。
- ねじの締め付けはトルク 18.8N・m 以上で締め付けてください。



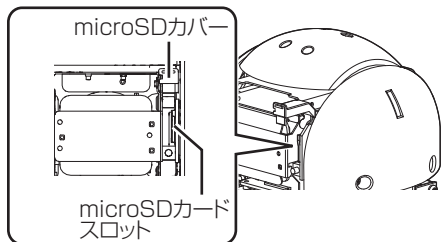
5 ねじ 4 本を緩めてカメラ本体のドームカバーをはずし、梱包用部材を取りはずす



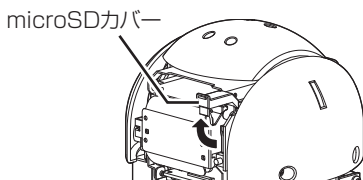
次のページへつづく

6 microSD カードを挿入する

- microSD カバーを開け、microSD カードを挿入し、microSD カバーを閉めます。
- 詳しくは「本機で使用可能な microSD カードについて」をご覧ください。(P.18)

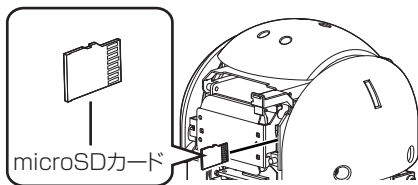


- ① microSD カバーを矢印の方向に持ち上げるようにし、開けてください。

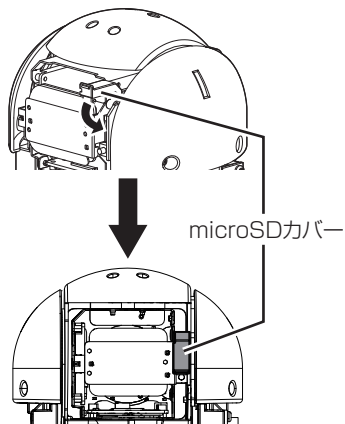


- ② microSD カードスロットに microSD カードを挿入してください。

- microSD カードは、カチッと音がするまで差し込んでください。



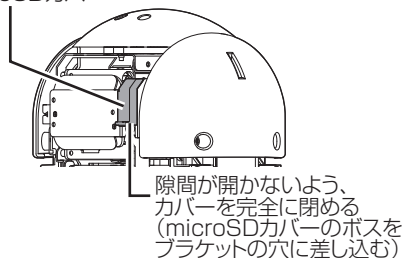
- ③ microSD カバーを閉めてください。



ご注意：

- レンズ部(カメラモジュール)は回転しやすいので、レンズに触れないようにしてレンズ部を手で固定してください。
- microSD カードを取り出すときは、挿入と同じ手順で microSD カバーを開けてから、カードを取り出してください。
microSD カードを奥に押し込むと、カードが取り出せません。
- microSD カバーの閉め方が不確実だと、カメラが回転した際に、ドームカバー等と接触する恐れがあります。図のように、microSD カバーを確実に閉めてください。

microSD カバー

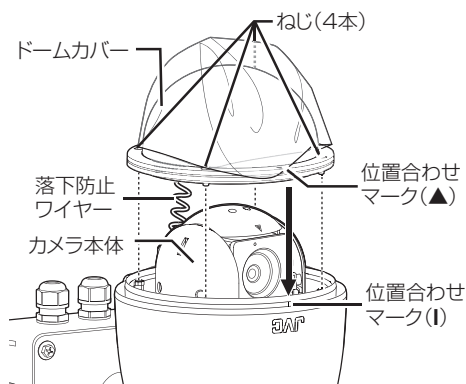


- microSD カードの挿入および交換は、本機の電源を切った状態で行なってください。
microSD カードに書き込み中に電源を切ったり、取り出したりとすると、カード内の記録データが破損します。

- microSD カードを取り出すときは、[SD カード記録] ページで [アンマウント] ボタンを押してから取り出してください。
- microSD カバーを開けたり microSD カードを取り出したりするときは、工具や microSD カバー周囲の金属などで指がをしないように気を付けてください。
- microSD カードを取り出すときに、勢いよく飛び出ることがありますので十分注意し、失くさないようにしてください。

7 ドームカバーをカメラ本体に取り付ける

- ① ドームカバー内側の保護シートを外してください。
- ② ドームカバー内側やレンズにごみが付いていないかを確認してください。
- ③ 図のようにドームカバーとカメラ本体の位置合わせマークを合わせて、ねじ(4本)でドームカバーをカメラ本体に取り付けてください。

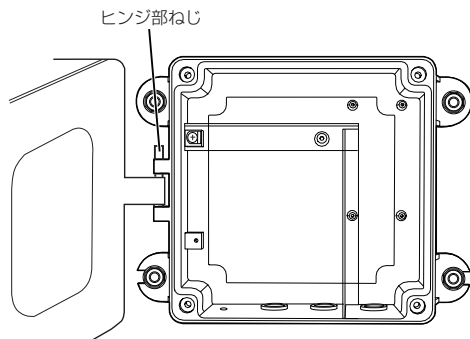


ご注意:

- 防水用パッキングがカメラ本体側からはずれていないか確認してください。外れている場合は、パッキングをつけ直してください。
- ドームカバーは光学部品のため取り扱いに注意してください。
- ドームカバーを取り付けるときは、中にごみが入らないように注意してください。
- ドームカバーを取り付けるときは、4か所のねじを仮止め後、増し締めしてください。
- ドームカバーの取付ねじは、しっかりと締め付けてください。締め付けが不十分だと防水性能が発揮できません。

カメラ本体と、壁面取付ブラケット(アーム部)の取り付け(VN-H658WP)

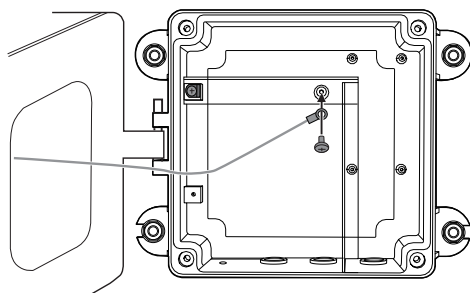
- 1 カメラ本体と壁面取り付けブラケット(アーム部)をヒンジ部ねじでボックスに取り付ける



ご注意:

- 本機の質量は、約 6.3 kg あります。落下には十分に注意して取り付け作業を行なってください。
- 設置時は、安全のため、複数人で作業してください。

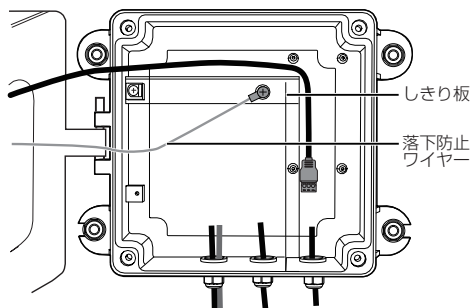
- 2 壁面取付ブラケット(アーム部)から出ている落下防止ワイヤー(1本)を取り付ける



次のページへつづく

3 外部からのケーブル類をボックスの穴から引き入れる

- AC24V 電源使用時は、電源ケーブルを一番右の穴から通します。

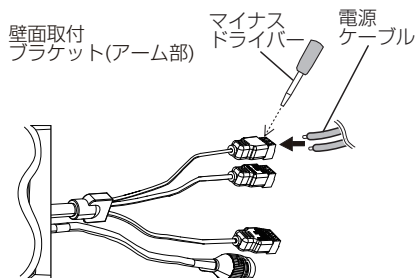


ご注意:

- 電源ケーブルのみ、必ずしきり板の外側に配置して他のケーブルと分けてください。
- ケーブルグラウンドの内径は $\phi 12\text{ mm}$ です。複数のケーブル類をひとつのケーブルグラウンドに通すときは合計で $\phi 12\text{ mm}$ を超えないようにしてください。
- ケーブル類の径が太くボックスに引き込めない場合は、別途中継ボックスを使用しケーブル径の変換を行なってください。

4 電源ケーブルを接続する

- AC24V 電源で電源供給する場合は、電源ケーブルを接続してください。
- PoE++ で電源供給する場合は、電源ケーブルの接続は不要です。次の手順へお進みください。



AC24V と接続する場合の電源ケーブルについて(参考値)

導体直径(mm)	最大接続距離(m)
$\Phi 1.0$ 以上	30
$\Phi 1.6$ 以上	80
$\Phi 2.0$ 以上	130
$\Phi 2.6$ 以上	220

ご注意:

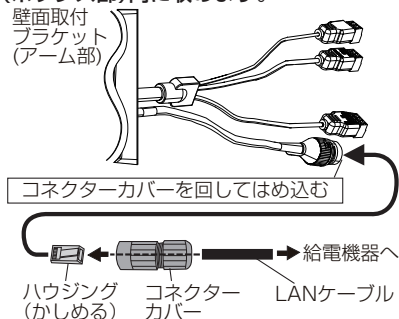
- 電源ケーブルと LAN ケーブルの両方から電源が供給された場合、電源ケーブルからの電源が優先されます。
- 電源ユニットに TK-A241 を使用する場合は、“OUTPUT1 (MAX 3.2 A)” を接続してください。“OUTPUT2 (MAX 1 A)” または “OUTPUT3 (MAX 1 A)” に接続すると電流容量が不足することがあります。TK-A241 の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 電源ユニットに TK-A241 を使用する場合は、ユニット 1 台につき本機 1 台のみ使用可能です。

5 LAN ケーブルを接続する

- カテゴリ 5e 以上 100 m 以下の LAN ケーブルで接続してください。UTP (シールド無し) を使用してください。

- LAN ケーブルでハブまたはパソコンと、本機の LAN ケーブルコネクタを接続してください。
 - ハブに接続する場合: ストレートケーブルを使用してください。
 - パソコンに接続する場合: クロスケーブルを使用してください。

- ② コネクタ部分に、添付のコネクタカバーを取り付け、その上から防水テープ(融着)を巻き付け、LAN ケーブルを壁面取付ブラケット(ボックス部)内に収めます。



ご注意:

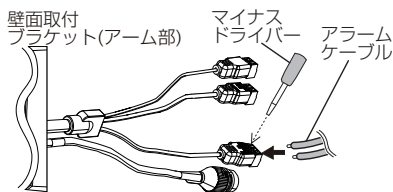
- -10℃ 以下の環境下で使用する場合は、AC24 V 電源で使用してください。
- パソコンによってはクロスケーブルを使用できない機種があります。カメラをパソコンに直結する場合には事前にパソコンの LAN 仕様を確認してください。
- 必ずコネクタカバーを取り付けてから防水テープを巻き付けてください。防水テープにより接触不良となる可能性があります。
- 同一 LAN 環境下で、工場出荷時のカメラを複数台同時に電源投入すると、IP アドレスの重複が起こり、正しくアクセスできなくなります。ホームページの各種ダウンロードから IP 設定ツールをダウンロードして設定するか、あるいは 1 台ずつ電源を投入し、重複しない IP アドレスを設定してください。
ホームページ:
<https://www.jvc.com/jp/pro/support/>

メモ:

- 工場出荷時は IP アドレスが 192.168.0.2 に設定されています。

6 アラーム信号ケーブルを接続する

- アラーム信号ケーブルと、センサー、ブザーなどの外部機器を接続します。
- アラームケーブルは長さ 50 m 以下、UL1007 または UL1015 相当品、AWG24~AWG16 相当品をご使用ください。
- アラーム信号ケーブルについてはアラーム入力(P.17)、アラーム出力(P.17)をご覧ください。
- アラーム入出力について詳しくは、「アラーム入出力信号について」をご覧ください。(P.19)
- アラーム信号ケーブルを接続したあとに、防水テープ(融着)を巻き付けます。
- 接続が完了したら、アラーム信号ケーブルを壁面取付ブラケット(ボックス部)内に収めます。



スクリューターミナルのピン端子にワイヤーを挿入してスクリューをマイナスドライバーで締めて固定します。スクリューターミナルはケーブルのコネクタ部から抜くことができます。ケーブルのコネクタ部から抜いて、配線したあとで差し込む場合は確実に奥まで差し込んでください。

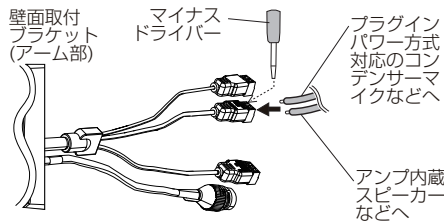
ご注意:

- 使用しないケーブル類の先は、1 本ずつ必ず防水テープ(融着)などで、確実に防水処理を行なってください。
- 使用しないケーブル類を切断しないよう、取り扱いにご注意ください。
- 外来の雑音などによって、長さ 50 m 以下でも誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行なってください。

次のページへつづく

7 オーディオケーブルを接続する

- オーディオケーブルは長さ 5 m 以下、外径 5.0 mm 以下のシールドケーブルを推奨いたします。
- AUDIO IN 端子 (P.17) : プラグインパワー方式対応のコンデンサーマイクなどと接続します。
- AUDIO OUT 端子 (P.17) : アンプ内蔵スピーカーなどと接続します。



スクリューターミナルのピン端子にワイヤーを挿入してスクリューをマイナスドライバーで締めて固定します。スクリューターミナルはケーブルのコネクター部から抜くことができます。ケーブルのコネクター部から抜いて、配線したあとで差し込む場合は確実に奥まで差し込んでください。

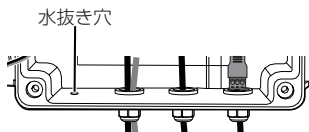
ご注意:

- 使用しないケーブル類の先は、1 本ずつ必ず防水テープ(融着)などで、確実に防水処理を行なってください。
- 使用しないケーブル類を切断しないよう、取り扱いにご注意ください。

8 ケーブル類を防水処理する

ご注意:

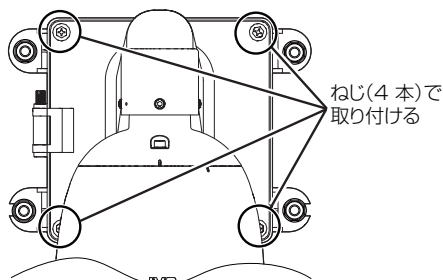
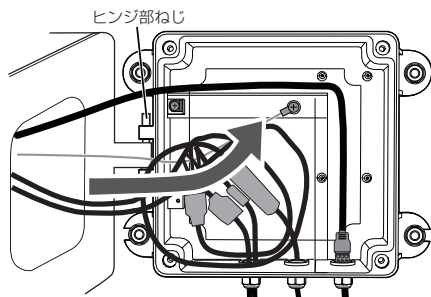
- ボックス内は防水ではありません。ケーブル接続部は必ず防水処理をしてください。
- ボックス内に水がたまる恐れがある場合は、ドライバーなどで押して、水抜き穴キャップをはずしてください。



- ケーブル類の接続部は必ず防水処理をしてください。防水は自己融着テープを端子部に巻き付け、その上からビニールテープを巻き付けて処理してください。
- LAN ケーブルの防水処理は必ず添付のコネクターカバーを使用してください。自己融着テープにより接触不良となる恐れがあります。

9 カメラ本体と壁面取付ブラケット(アーム部)を壁面取付ブラケット(ボックス部)に取り付ける

- ねじ(4 本)で取り付けます。

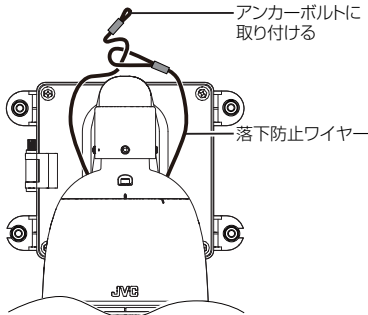


ご注意:

- 壁面取付ブラケット(ボックス部)ねじの締め付けは、スパナなどを使用してトルク 3.9N・m 以上で締め付けてください。
- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。カメラの初期動作でパン・チルト動作をするため危険です。
- 本機の質量は、約 6.3 kg あります。落下には十分に注意して取り付け作業を行なってください。
- 設置時は、安全のため、複数人で作業してください。
- ボックスを開けたまま、電源を入れないでください。カメラが回転して危険です。

10 本機(カメラ本体と壁面取付ブラケット)用の落下防止ワイヤーを取り付ける

- 落下防止ワイヤーを壁面取付ブラケット(アーム部)に巻き付けます。
- 落下防止ワイヤーを、準備で立てた落下防止ワイヤー取付用のアンカーボルトに取り付けます。
- 落下防止ワイヤーは、ナットとワッシャーでしっかりと固定します。

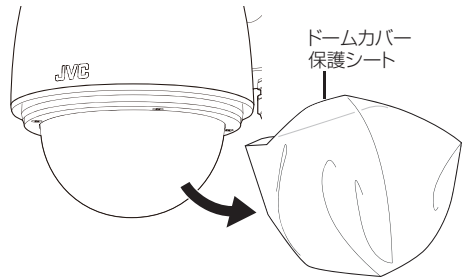


ご注意:

- 落下防止ワイヤーは付属していません。事前に本機の質量に耐えられる十分な強度のものを準備してください。
- 落下防止ワイヤー、ナット、ワッシャーは、ステンレス製のものを使用してください。
- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。

11 ドームカバー保護シートをはがす

- 取り付け完了後に、外側の保護シートをはがします。



設置完了後、すべてのねじが確実に締められているか、必ず確認してください。

以上でカメラの設置は終了です。このあと、カメラの IP アドレスを設定してください。(P.38)

■ カメラの取りはずし

カメラを取りはずす場合は、取り付け時と逆の手順で行います。

接続

動作環境

下記の表は本機の使用に必要な最低限の動作環境を示しています。この環境を満たすハードウェアやソフトウェアの使用をおすすめします。

システムハードウェア	
CPU	Intel Core i7 3.40 GHz 以上
RAM	8 GB 以上
ディスプレイ	1920x1080 ピクセル以上、True Color (24 bit/32 bit)
システムソフトウェア	
オペレーティングシステム	Windows 10 Pro (64 bit)、Windows 11 Pro (64 bit)
ブラウザ	Microsoft Edge (バージョン 94.0.992.50 以降)
電源	
電源	AC24 V / PoE+ (IEEE802.3at Type2) / PoE++ (IEEE802.3bt Type3)
ネットワーク	
有線	10BASE-T/100BASE-TX イーサネット (RJ-45 コネクタ)
映像の再生	
本機のビューワーの録画ボタンと SD カード記録で録画した映像については、オペレーティングシステムごとに下記のプレーヤーで再生を確認しています。	
<ul style="list-style-type: none"> Windows Media Player (バージョン: 12) 	

ご注意:

- PoE ++ をご使用になる場合は、PoE ++ ネットワークの接続にルーターや異種の機器を使わないでください。(VN-H658WP のみ)
- H.265 で保存された動画ファイルを再生する場合、「HEVC ビデオ拡張機能」が必要です。お使いのパソコンに「HEVC ビデオ拡張機能」がインストールされていない場合、別途費用が必要です。

メモ:

- ディスプレイのリフレッシュレートは 60 Hz 以上で使用してください。
60 Hz に満たない場合、ビューワーで表示中の映像の動きの滑らかさが失われることがあります。

ネットワークについて

- 本機が送信するデータ量に対して十分なネットワーク帯域を確保してください。また、帯域を超えるマルチキャストストリームを流さないでください。マルチキャストストリームによって帯域が専有されると、ネットワーク経由で本機を制御できなくなる場合があります。
- 本機が送信するデータ量は設定や配信数によって異なります。
- 送信できるビットレートの上限は 40 Mbps 未満です。
- 最大 20 クライアントまで同時配信可能です。

● フレームレートとフレームサイズ

本機は最大 4 チャンネルの同時エンコードが可能ですが、設定可能なフレームサイズとフレームレートの組み合わせに制約があります。

組み合わせの制約については、「取扱説明書(設定編)」の[設定]-[カメラ]-[エンコーダーで設定できるフレームサイズの組み合わせ表]をご覧ください。

● JPEG のファイルサイズ

本機の JPEG エンコーダーは、JPEG の画質設定に合わせてエンコード時の量子化テーブルを一定に保つため、ファイルサイズはエンコードの設定だけでなく、カメラ映像に応じても増減します。設定できるファイルサイズについては、「取扱説明書(設定編)」の[設定]-[カメラ]-[エンコード]-[JPEG 設定時の画質とフレームサイズごとのファイルサイズの目安]をご参照ください。

● H.264/H.265 ストリームのビットレート

H.264/H.265 ストリームのビットレート方式は、VBR(可変ビットレート)または CBR(固定ビットレート)のいずれかの方式を選択できます。VBR 方式はカメラ映像の状況に応じてビットレートが変化します。VBR 方式の場合、画質は安定しますが、ビットレートの予測が困難です。CBR 方式はカメラ映像の状況に関係なく、一定のビットレートでエンコードします。CBR 方式の場合、画質が変化しますがビットレートの予測が容易です。VBR、CBR とも、目安としてのビットレートを設定できます。

● 音声のデータ量

受信する音声データのストリーミング本数は最大で 1 本です。圧縮方式を G.711 に設定したとき、1 本あたり 64 kbps です。音声のデータ量は次の式で計算できます。(AAC の場合は 96kbps)

$$64 \text{ kbps} \times \text{本数}$$

ストリーミング本数は TCP で送信している本数(クライアントの数)、マルチキャストで送信している本数、および受信している本数を合計したものです。例えば本機が 2 本の音声を送信し、1 本の音声を受信している場合、データ量は次のようになります。

$$64 \text{ kbps} \times 3 = 192 \text{ kbps}$$

● ネットワーク帯域が不足した場合

帯域が不足するとクライアントで取得できる JPEG の枚数(フレームレート)が少なくなります。また、映像配信が遅延します。H.264/H.265 の場合、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

● ネットワークの遅延

クライアントが JPEG を TCP で取得する場合には、クライアントからの ACK を確認しつつ本機は送信します。遅延が大きいネットワークでは ACK を受信するまで送信できないため、フレームレートが低下します。H.264/H.265 の場合、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。マルチキャストで受信すれば、ネットワークの遅延によるフレームレート低下はなくなります。

● ネットワークのジッター

ネットワークのジッターが大きいと、遅延時間の増大、映像のフレームレートの低下が起こります。H.264/H.265 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

● パケットロス

本機から TCP で映像を取得する場合は、パケットロスが TCP の再送によってリカバリーされます。ただし再送による遅延が大きい場合には、データが欠落し、映像のフレームレート低下が起こります。H.264/H.265 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。本機からのマルチキャスト送信でパケットロスが起こった場合は、映像のフレームレート低下が起こります。H.264/H.265 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

● 映像の滑らかさについて

フレームサイズが 1920x1080、フレームレートが 60fps のとき、ビューワーの映像が滑らかに表示されない場合があります。このとき、記録映像には影響ありません。

● 使用するプロトコル、ポート番号一覧

本機では下記のプロトコル、ポート番号を使用します。ファイアウォールを設置する場合にはこれらのポートを通過させてください。

受信ポート

プロトコル/ ポート番号	用途
TCP/21	FTP: SD カードへのアクセス
TCP/80	HTTP: ライブ映像音声の取得、カメラ設定、API、ONVIF
TCP/443	HTTPS: ライブ映像音声の取得、カメラ設定
TCP/554	RTSP: 映像音声配信制御
TCP/49152	UPnP: ユニバーサルプラグアンドプレイ
UDP/1900	UPnP: ユニバーサルプラグアンドプレイ
UDP/3702	ONVIF: カメラ検索
UDP/53152	映像マルチキャスト: レシーバーレポート
UDP/53162	音声マルチキャスト: レシーバーレポート

送信ポート

プロトコル/ ポート番号	用途
TCP,UDP/ユーザー定義	TCP,UDP 通知、メール送信
TCP21	FTP: 静止画の保存
TCP/80	HTTP: HTTP 通知
UDP/53	DNS: 名前解決
UDP/	DHCP: IP アドレス自動設定
UDP/80	HTTP: API (カメラ検索)
UDP/123	SNTP: 時刻同期
UDP/161	SNMP: 遠隔監視

● 運用プロトコルについて

ONVIF について

本機は、ONVIF (Open Network Video Interface Forum) に対応しています。ONVIF は、監視機器のネットワークプロトコルを標準化している団体です。ONVIF では、監視機器を発見するプロトコル、監視機器の設定を取得・変更するプロトコル、映像音声データを送受信するプロトコルなどが標準化されています。また、本機は ONVIF Profile S、Profile T を満たしています。

映像確認の準備

本機が撮影する映像は複数のブラウザで確認することが可能です。映像の確認には、下記の手順で表示を有効にすることが必要です。

1 Cookie を有効にしてください。

- Microsoft Edge で、「…」-[設定(⚙️)]をクリックし、表示されたメニューにある **Cookie とサイトのアクセス許可** をクリックしてください。
- **Cookie とサイトデータの管理と削除** を開き、「Cookie データの保存と読み取りをサイトに許可する (推奨)」をチェックし、「サードパーティの Cookie をブロックする」のチェックをはずしてください。

2 プロキシサーバーを使用する場合は、プロキシサーバーの設定を行ってください。

IP アドレス(工場出荷値)

本機はネットワーク接続を前提としていますので、IP アドレスを最初に割り当てる必要があります。本機の IP アドレスは初期設定で **192.168.0.2**、またサブネットマスクは **255.255.255.0** となっています。ご使用のネットワーク環境に合わせ、IP アドレス/サブネットマスクを変更してください。なお、DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを割り当てる運用の場合には、「ネットワーク」の「IP 設定」で「DHCP」を選択してください。

パソコン接続および映像確認の準備

この手順の説明は、下記的环境で行なっています。
オペレーティングシステム: Windows 10 Pro (64 bit)、Windows 11 Pro (64 bit)
ブラウザ: Microsoft Edge

● パソコンへの接続

- 1 本機とパソコンが同一のサブネットにあることを確認してください。
- 2 デフォルトの IP アドレスを使って本機とパソコンがネットワーク接続されていることを確認してください。
 - 「コマンドプロンプト」を起動します。
“ping 192.168.0.2”と入力し、ネットワーク接続されていると、“~からの応答”というメッセージが表示されます。
- 3 **Microsoft Edge** を起動して IP アドレスに **“192.168.0.2”** を入力します。
 - ログイン画面が表示されます。別紙の「**パスワード管理と初期パスワードについて**」を参照していただき、ユーザー名とパスワードを入力してください。
本機の設定については、取扱説明書(設定編)の“設定”ページをご覧ください。
 - ホームページの[各種ダウンロード]→[ソフトウェアダウンロード]から[IP 設定ツール]をダウンロードして、LAN 内の本機を検索することができます。
ホームページ:
<https://www.jvc.com/jp/pro/support/>
 - Microsoft Edge は管理者として実行してください。

このサイトにアクセスするにはサインインしてください

http://192.168.0.2 では認証が必要となります
このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザー名

パスワード

こんなときは

PoE 給電機器で電源供給しても、電源が入らない

原因 PoE+(IEEE802.3at)または PoE++ (IEEE802.3bt)対応の給電機器とカテゴリ 5e 以上/100 m 以下の LAN ケーブルで接続していますか？

対応 PoE 給電機器（ハブなど）によっては、供給できるトータル電力の制限を超える台数の PoE 端末機器を接続すると、電源を供給しない場合があります。PoE 給電機器の取扱説明書をご覧ください。

TK-A241 で AC24V を供給しても、電源が入らない

原因 TK-A241 に接続する場合の制限事項を守っていますか？

対応

- 電源ユニットに TK-A241 を使用する場合は、“OUTPUT1 (MAX 3.2 A)”を接続してください。“OUTPUT2 (MAX 1 A)”または“OUTPUT3 (MAX 1 A)”に接続すると電流容量が不足することがあります。TK-A241 の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 電源ユニットに TK-A241 を使用する場合は、電源ユニット 1 台につき本機 1 台のみ使用可能です。

映像が出ない

原因 ① クライアントパソコンが HTTP で本機へアクセスする場合のポート番号の指定は合っていますか？（ポート番号が間違っている場合は、接続できません。）

② Microsoft Edge を使用していますか？

③ 動作状況ページの配信先が 20 を超えていませんか？

対応 ① ブラウザーの HTTP ポートの値に、本機の [ネットワーク] - [HTTP/RTSP サービス] の HTTP サーバーポートと同じ値を指定してください。

② Microsoft Edge (バージョン 94.0.992.50 以降) を使用してください。

③ システム設計を見直してください。

画面の一部が見えなくなる

原因 画面表示が大きくなっています。

対応 Microsoft Edge の拡大倍率を 100% に設定してください。

映像表示が滑らかではない

原因 ① CPU やメモリーの負荷変動、ネットワークのジッターなどの要因によって、本機からの映像が滑らかに見えない場合があります。また、SD カードの記録中は、配信能力が低下する場合があります。

② マルチディスプレイ環境でお使いの場合に、映像が滑らかに見えない場合があります。

対応 ① ビューワーの [設定] - [カメラ] - [エンコード] より [フレームレート]、[ビットレート] もしくは [画質] を下げて映像を確認してください。

② このようなときは、シングルディスプレイでご使用ください。

microSD カードが入らない

原因 microSD カードの挿入向きが間違っていないですか？

対応 取扱説明書 (設置編) を参照してください。

その他

SD カードに記録した映像のフレームレートが設定より少ない、または変動する

原因 電子感度アップ機能がはたらくと、感度を上げるために SD カードに記録される映像のフレームレートが減少します。そのため、再生コマ数が少なくなったり、変動したりすることがあります。

対応 [カメラ] - [露光設定] - [感度アップ]を低い倍率に設定してください。

本機の IP アドレスがわからない

原因 設定した IP アドレスを忘れてしまった。DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレスがわからない。

対応 UPnP を使用してエクスプローラーで検索してください。または、同じ LAN に設定されているパソコンからであれば、“JVC カメラ IP 設定ツール (Version 2.1 以降)”を使用して検索してください。

本機の設定ページを閲覧できない

原因 operator 権限または user 権限でログインしている。

対応 admin 権限でログインしてください。

設定に対して、表示される映像のビットレートが低い

原因 フレームレートの数値が高い。

対応 [フレームレート]によっては、設定したビットレートを大きく下回る場合があります。

3次元ノイズリダクションを使用すると残像が生じる

原因 -

対応 3次元ノイズリダクション使用時は、原理上、動きのある被写体で残像が生じることがありますが、故障ではありません。

外部マイク音声がか聞こえない

原因 ① 外部マイクが正常に接続されていない。
② カメラの音量設定が小さすぎませんか？

対応 ① マイクが AUDIO IN 端子に接続されていることを確認してください。
② [システム] - [音声]のカメラのマイクの音量設定を上げてください。

昼間なのに映像が白黒になっている

原因 ナイトモードになっている。または、[カメラ] - [露光設定] - [デイモード] - [カラーモード]が白黒になっている。

対応 デイナイト切り替え設定がナイトモードになっている、または[デイモード] - [カラーモード]が白黒になっている場合に映像が白黒になります。撮影環境に合わせて正しく設定してください。

ホワイトバランスをマニュアルでうまく調整できない

原因 OnePushAWC での調整範囲のほうが手動調整範囲よりも広いため、色味の強い特殊光源や被写体での撮影にて OnePushAWC での合わせ込みを行なったあとは、手動での微調整を行うと1段階以上の変化が起こる場合がある。

対応 色味の強い特殊光源や被写体での撮影ではホワイトバランスの微調整は行わないでください。

ビューワーの静止画保存アイコン(📷)をクリックしたときや、録画アイコン(📹)をクリックしたときに、ファイルがパソコンに保存されない

原因 Microsoft Edge が管理者として実行されていない。

対応 Microsoft Edge を管理者として実行してください。下記の操作にて実行できます。
① Microsoft Edge を右クリックする
② [管理者として実行]を選択する

TCP/UDP によるアラーム通知をパソコンで受信できない

- 原因** Windows のファイアウォールによってポートがブロックされている場合があります。
- 対応** 使用するパソコンの Windows 環境のファイアウォールに対しては、下記操作を実行してください。
- Windows10 Pro 64bit(バージョン 21H2)の場合:
- ① [コントロールパネル]を表示する
 - ② [システムとセキュリティ]を開く
 - ③ [Windows Defender ファイアウォール]を開く
 - ④ [詳細設定]メニューを開き、[受信の規則]-[新しい規則]を選択する
 - ⑤ [新規の受信の規則ウィザード]で[規則の種類]の“ポート”を選択する
 - ⑥ [プロトコルおよびポート]で“特定のローカルポート”にポート番号を入力する
 - ⑦ [操作]で“接続を許可する”を選択する
 - ⑧ [プロファイル]で適用条件を選択する
 - ⑨ [名前]で“名前”に任意の文字列で登録する
 - ⑩ [完了]をクリックし、設定を終了する
- 使用するネットワークネットに設けられたファイアウォールや上記の操作で問題を解決できない場合には、ネットワーク管理者または設置業者に相談してください。

保証とアフターサービス

■ 保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容によって、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。

故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。その他詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望に応じて有料にて修理いたします。

■ 消耗部品について

下表の部品は消耗部品であり、寿命時間や回数を目安に交換が必要です。寿命時間は目安であり、使用環境や使用条件によって異なります。これらの部品の交換に伴う部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

消耗部品	寿命の目安
カメラユニット ズーム動作 フォーカス動作	約 200 万動作 約 400 万動作
スリップリング	約 400 万動作
ファンモーター (VN-H658WP のみ)	約 4 万時間

■ サービス窓口

- 下記 URL をご覧ください。
<https://jkpi.jvckenwood.com/support/repair/>
- 業務用製品修理窓口 (045-939-7320)

■ サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

■ 修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口にて次のことをお知らせください。

品名	: HD ネットワークコンビネーションドームカメラ 屋外 HD ネットワークコンビネーションドームカメラ
型名	: VN-H658 VN-H658WP
お買い上げ日:	
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

■ 商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

■ VN-H658/VN-H658WP 共通

● カメラ部

撮像デバイス	: 1/2.8 型 CMOS
有効画素数	: 約 213 万画素、1945 (H) × 1097 (V)
撮像面積	: 5.64 mm (H) × 3.18 mm (V)
カラー撮像方式	: 単板 原色 ローリングシャッター方式
走査方式	: プログレッシブスキャン
最低被写体照度	: カラー: 0.03lx (F1.6, 50%出力、ノーマルモード)
時	: AGC 最大、1/30 白黒: 0.01lx (F1.6, 50%出力、AGC 最大、1/30)
ホワイトバランス	: ATW-Wide、ATW-Narrow、ATW-Full、AWC(マニュアル/ワンプッシュ)
AGC	: 有り(0~71dB)
電子シャッター	: オート: 最大・最小シャッター速度を設定 マニュアル: 1/30~1/30000、フリッカーレス
電子感度アップ	: 可能(OFF、x2、x4、x8、x16)
BLC(逆光補正)	: 有り
ワイドダイナミックレンジ	: WDR 拡大比 40dB 以上(JEITA/RBSS 測定方法)
霧除去	: 有り(OFF、LOW、MID、HIGH)
イメージスタビライザー	: 有り(ON、OFF)、電子式
カラーレベル	: 調整可能
ブラックレベル	: 調整可能
エンハンスレベル	: 調整可能
3 次元ノイズリダクション	: 有り(0~10)
デイナイト機能	: IR カットフィルター挿抜
フリップモード	: 選択可能
プライバシーマスク	: 24 個の矩形領域を設定可能
アラーム入力	: メイク/ブレイク選択、2 系統アラーム入力、1 系統 P/T ストップ
デイナイト切替入力	: 1 系統、メイク/ブレイク選択
アラーム出力	: 2 系統、オープンドレイン出力 許容印加電圧: DC40V 以下、許容流入電流: 300 mA 以下

音声出力	: 1 系統
音声入力	: 1 系統 プラグインパワーマイク対応
SD カードスロット	: 有り(microSDHC/microSDXC)
ト	
オートリターン	: 有り
オートパン	: 有り
オートパトロール	: 有り(32 箇所×3 セット)
プリセットポジ	: 最大 256 個
ション数	

● 推奨パソコン

OS	: Windows 10 Pro(64 bit) Windows 11 Pro(64 bit)
CPU	: Intel Core i7 以上、3.40 GHz 以上
メモリー	: 8 GB 以上
ディスプレイ	: 1920×1080 ピクセル以上、True Color

● 回転機構部

水平回転範囲	: 360° エンドレス
水平回転速度	: 1°/s~300°/s
垂直回転範囲	: -6°~186°(正面水平を 0°とし、そこから上方向をマイナスとし、逆方向をプラスとする)
垂直回転速度	: 1°/s~300°/s

その他

● ネットワーク部

インターフェース: RJ-45、10Base-T/100Base-TX
(AUTO NEGOTIATION)

通信プロトコル: IPv4、IPv6、HTTP、HTTPS、TCP、
UDP、FTP、RTP、RTSP、RTCP、
SMTP、DHCP、SNTP、SNMP
v1/v2c/v3、ICMP、IGMP、DNS、
ARP、ONVIF、802.1x

標準化プロトコル: ONVIF Profile S、Profile T

画像圧縮フォーマット: H.265 Main profile、H.264 (Main/
High profile)、JPEG

フレームサイズ: 1920 × 1080、1280 × 960、
1280 × 720、640 × 480、
640 × 360、320 × 240

圧縮設定(H.265/H.264): VBR/CBR/GOP(ビットレート設定
可能 128 kbps~12288 kbps)

圧縮設定(JPEG): VFS(クオリティ設定可能)

フレームレート: 最高 60 fps

音声圧縮方式: G.711μ-Law、AAC

音声ファイル: WAVE ファイル(.wav)形式
(リニア PCM、8 kHz、16 bit、モノラル)

配信方式: ユニキャスト/マルチキャスト

ビューワー: Web ブラウザー
(Microsoft Edge)

接続クライアント数: 最大 20

最大合計配信レート: ビットレート合計が 40 Mbps 未満

マルチエンコード: 異なるフレームサイズや圧縮形式、
ビットレートで同時 4 本までエン
コード可能

動き検出機能: 有り

妨害検出機能: 有り

異音検出機能: 有り

ネットワーク障害検出機能: 有り

Web サーバー機能: 有り

FTP クライアント機能: 有り

FTP サーバー機能: 有り(SD カード記録ファイルダウ
ンロード用)

メール通知機能: 有り

DHCP クライアント機能: 選択可能(工場出荷時:無効)

SNTP クライアント機能: 有り

アクセス保護機能: 有り(パスワードによる 3 段階設
定)

SD カード機能: イベント記録: プリ(最大 7 秒)
ポスト(最大 60 秒)

連続記録
ダウンロード可能

FTP 映像送受信機能: JPEG、640×360、毎秒 1 枚
ポスト(60 秒)アラーム記録、連続
記録

■ VN-H658

● レンズ部

焦点距離(倍率) : $f=4.3\text{ mm}\sim 129\text{ mm}$ (光学 30 倍)
 最大口径比 : F1.6(ワイド端) \sim 4.7(テレ端)
 包括角度(水平 \times 垂) : $66.9^\circ\times 39.7^\circ$ (ワイド端)
 直 16:9 時設計値) : $2.5^\circ\times 1.5^\circ$ (テレ端)
 フォーカス調整 : 電動(イージー AF、ワンプッシュ AF、マニュアル)
 ズーム調整 : 電動
 電子ズーム : 最大 8 倍
 最至近距離 : ワイド:0.1 m
 テレ:1.8 m

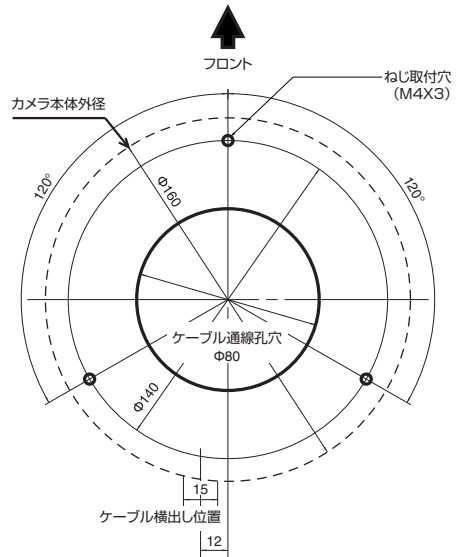
● 総合

電源 : AC24 V
 DC54 V (IEEE802.3at 準拠の PoE +)
 消費電力 : AC 24 V : 17.2 W、
 PoE+ : 17 W
 消費電流 : AC 24 V : 1200 mA、
 PoE+ : 320 mA
 周囲温度 : $-10^\circ\text{C}\sim 50^\circ\text{C}$ (動作)
 $0^\circ\text{C}\sim 40^\circ\text{C}$ (推奨)
 湿度 : 20%RH \sim 90%RH(結露なきこと)
 内部時計精度 : 月差 5 分以内
 外形寸法 : $\Phi 160\text{ mm}\times$ 高さ 201 mm
 (突起物含まず)
 質量 : 約 2.1 kg
 色 : 外装:パールグレー(マンセル
 0.9PB8.5/0.4 近似)
 アクセント:ライトシルバー(マンセル
 1.5PB8.4/0.3 近似)

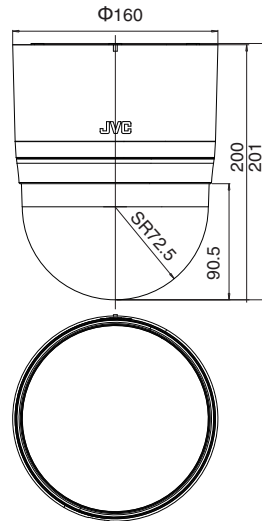
● 添付物・付属品

取扱説明書(設置編):1
 テンプレート:1
 保証書:1
 落下防止ワイヤー:1
 ワイヤークランプ:1
 ワッシャー:3

● 天井取付穴[単位:mm]



● 外形寸法図[単位:mm]



● 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

その他

■ VN-H658WP

● レンズ部

焦点距離(倍率) : f=4.3 mm~129 mm(光学 30 倍)
最大口径比 : F1.6(ワイド端)~4.7(テレ端)
包括角度(水平×垂) : 66.9°×39.7°(ワイド端)
直 16:9 時設計 : 2.5°×1.5°(テレ端)

フォーカス調整 : 電動(イージー AF、ワンプッシュ AF、マニュアル)

ズーム調整 : 電動
電子ズーム : 最大 8 倍
最至近距離 : ワイド:0.1 m
 テレ:1.8 m

● 総合

電源 : AC24 V
 DC54 V(IEEE802.3bt 準拠の PoE+
 +,IEEE802.3at 準拠の PoE+)

消費電力 : AC 24 V:25.9 W、
 PoE++:25.5 W

消費電流 : AC24V:1730 mA、
 PoE++:500 mA

周囲温度 : -30℃以上(起動)
 -40℃~55℃(動作)
 -30℃~40℃(推奨)

湿度 : 20%RH~90%RH(結露なきこと)

ヒーター : 内蔵

防塵防水性能 : IP66 準拠(JIS C 0920)

氷結時損傷保護 : UL50E(NEMA 4X 相当)

許容風速 : 60 m/s

内部時計精度 : 月差 5 分以内

外形寸法 : 幅 274 mm × 高さ 348 mm ×
 奥行 316 mm(突起物含まず)

質量 : 約 6.3 kg(カメラ本体 3.3 kg、壁面
 取付ブラケット 3 kg)

色 : 外装:パールグレー(マンセル
 0.9PB8.5/0.4 近似)
 アクセント:ライトシルバー(マン
 セル 1.5PB8.4/0.3 近似)

● 添付物・付属品

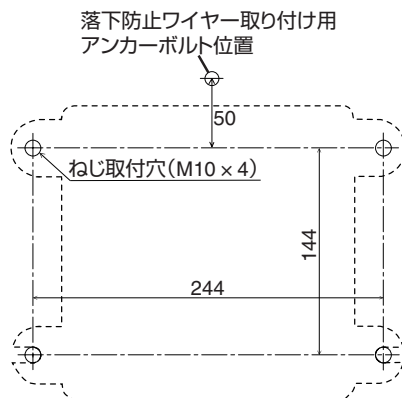
取扱説明書(設置編):1

テンプレート:1

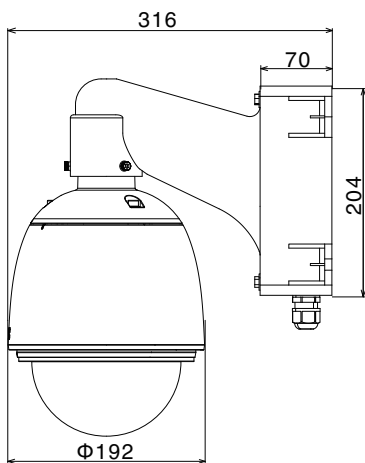
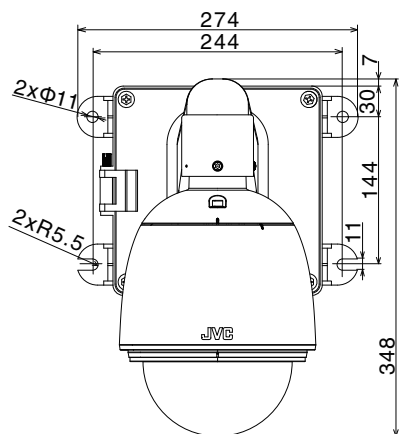
保証書:1

コネクターカバー:1

● 壁面取付穴[単位:mm]



● 外形寸法図[単位:mm]



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ホームページ <https://jkpi.jvckenwood.com/>